

人生会議（ACP：アドバンス・  
ケア・プランニング）に関する  
市民意識調査

令和4年3月  
静岡市



# 目次

I	調査概要	1
II	調査結果	3
1	あなたご自身のことについて	3
(1)	性別	3
(2)	年齢	3
(3)	居住区	4
(4)	同居人の有無・同居人	4
(5)	職業	5
(6)	現在の医療の利用状況	5
(7)	親族に対して介護をしているか・被介護者との関係	6
2	回復の難しい状態になった場合の希望について	7
(8)	どこで最期を迎えることを希望するか	7
(9)	自宅を選んだ理由	12
(10)	自宅以外を選んだ理由	24
3	人生の最終段階における医療・ケア等の話し合いについて	36
(11)	人生の最終段階における医療・ケアについて話し合ったことはあるか	36
(12)	話し合った相手	38
(13)	話し合ったことがない理由	40
(14)	家族等や医療介護関係者等と医療・ケアについて話し合う良い時期	42
(15)	家族等や医療介護関係者等と医療・ケアについて話し合う良いきっかけ	44
(16)	人生の最終段階における医療・ケアについて得たい情報源	47
(17)	人生の最終段階における医療・ケアについて考えるために得たい情報	50
(18)	人生会議の認知状況	53
(19)	自らが望む人生の最終段階における医療・ケアについて、 あらかじめ話し合いを進めることをどう思うか	54
III	調査票	55



# I 調査概要



## 1. 調査目的

人生会議（ACP）とは、もしもの時に備えて、自らが望む医療やケアについて、前もって考え、繰り返し話し合っ、共有する取り組みです。

静岡市では、在宅医療・介護連携推進事業の実施における資料として活用するため、人生会議（ACP）の意識に関するアンケートを実施しました。

## 2. 調査項目

- 1 あなたご自身のことについて
- 2 回復の難しい状態になった場合の希望について
- 3 人生の最終段階における医療・ケア等の話し合いについて

## 3. 調査方法

調査対象：市内在住で、40歳から74歳までの要支援・要介護の認定を受けていない方の中から無作為に5,000人を抽出

調査方法：郵送配布・郵送回収

調査期間：2022年1月28日（金）～2月14日（月）

## 4. 回収状況

発送数：5,000

回収数：2,167（43.3%）

有効回収数※：2,158（43.2%）

※有効回収数は、白票や著しく記入の少ない票等を除いたもの。

## 5. この報告書の見方

○回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してあります。

○百分率は小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。このため、百分率の合計が100%にならないことがあります。

○1つの質問に2つ以上答えられる“複数回答可能”の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合があります。



## II 調查結果

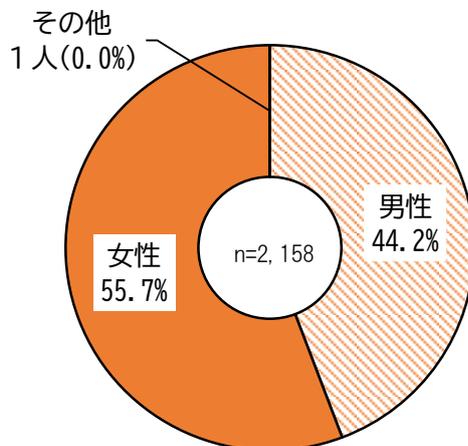


# 1 あなたご自身のことについて

## (1) 性別

◇性別を教えてください。(1つに○印)

<問1>

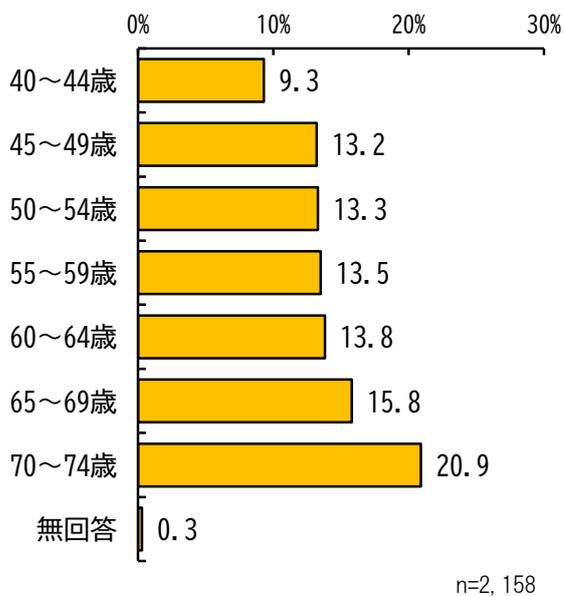


性別では、「女性」が55.7%、「男性」が44.2%となっています。

## (2) 年齢

◇令和3年12月1日現在の年齢を教えてください。(1つに○印)

<問2>

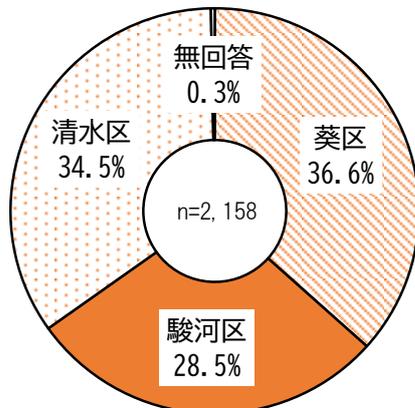


年齢では、「70~74歳」20.9%が最も多く、以下「65~69歳」15.8%、「60~64歳」13.8%、「55~59歳」13.5%、「50~54歳」13.3%となっています。

### (3) 居住区

◇あなたのお住まいの区を教えてください。(1つに○印)

<問3>



居住区では、「葵区」36.6%が最も多く、以下「清水区」34.5%、「駿河区」28.5%となっています。

### (4) 同居人の有無・同居人

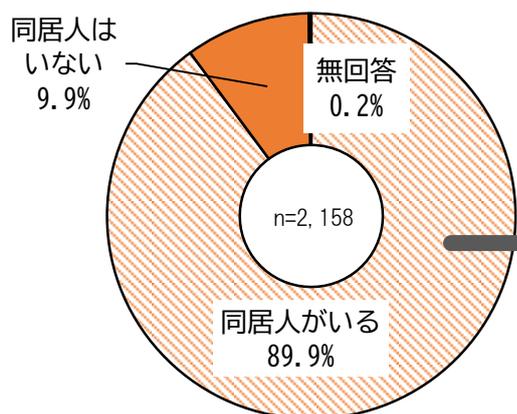
◇同居人の有無を教えてください。(1つに○印)

<問4>

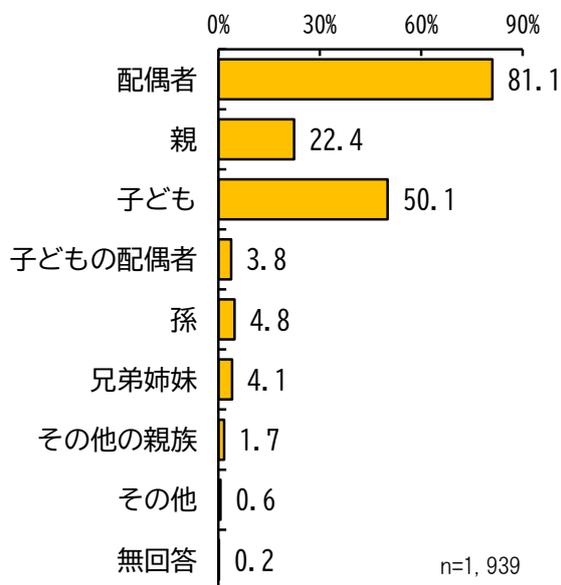
◇同居している方を教えてください。(複数回答可)

<問5>

<同居人の有無>



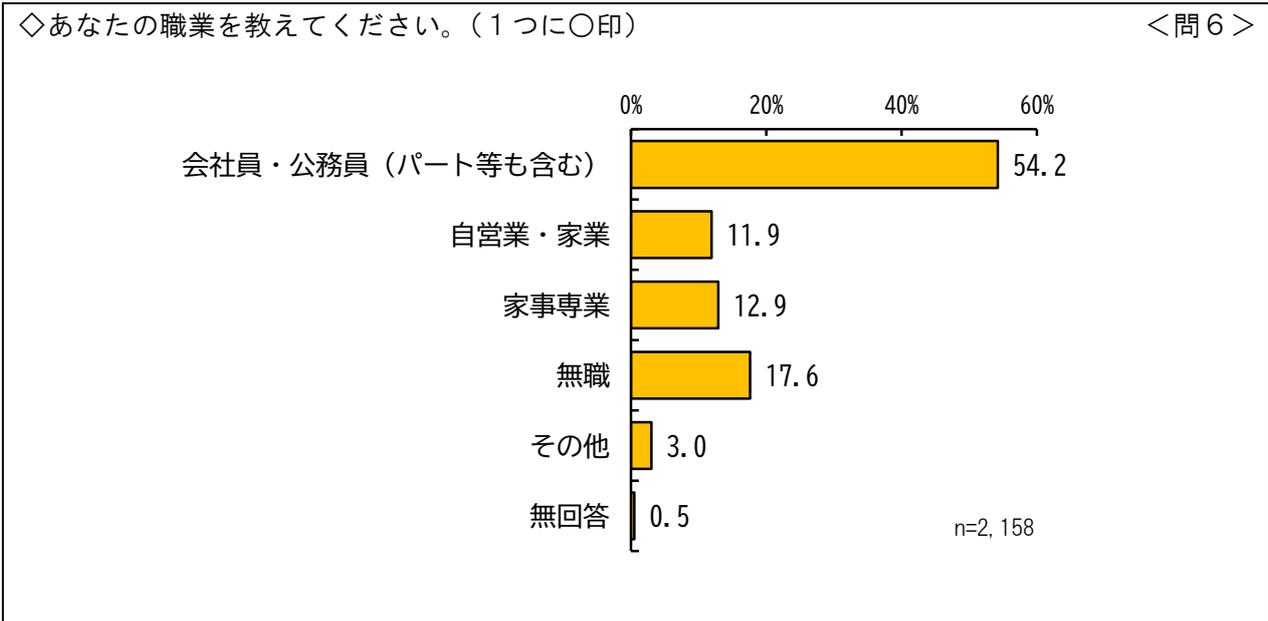
<同居人>



同居人の有無では、「同居人がある」が89.9%、「同居人はいない」が9.9%となっています。

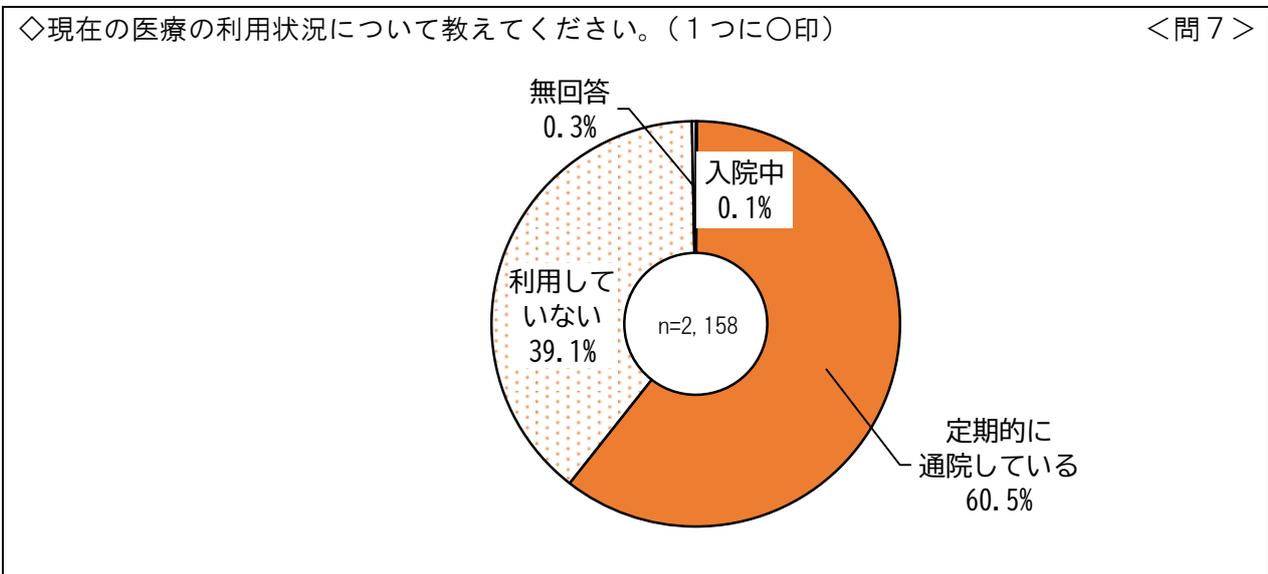
同居人では、「配偶者」81.1%が最も多く、以下「子ども」50.1%、「親」22.4%、「孫」4.8%、「兄弟姉妹」4.1%となっています。

## (5) 職業



職業では、「会社員・公務員 (パート等も含む)」54.2%が最も多く、以下「無職」17.6%、「家事専業」12.9%、「自営業・家業」11.9%、「その他」3.0%となっています。

## (6) 現在の医療の利用状況

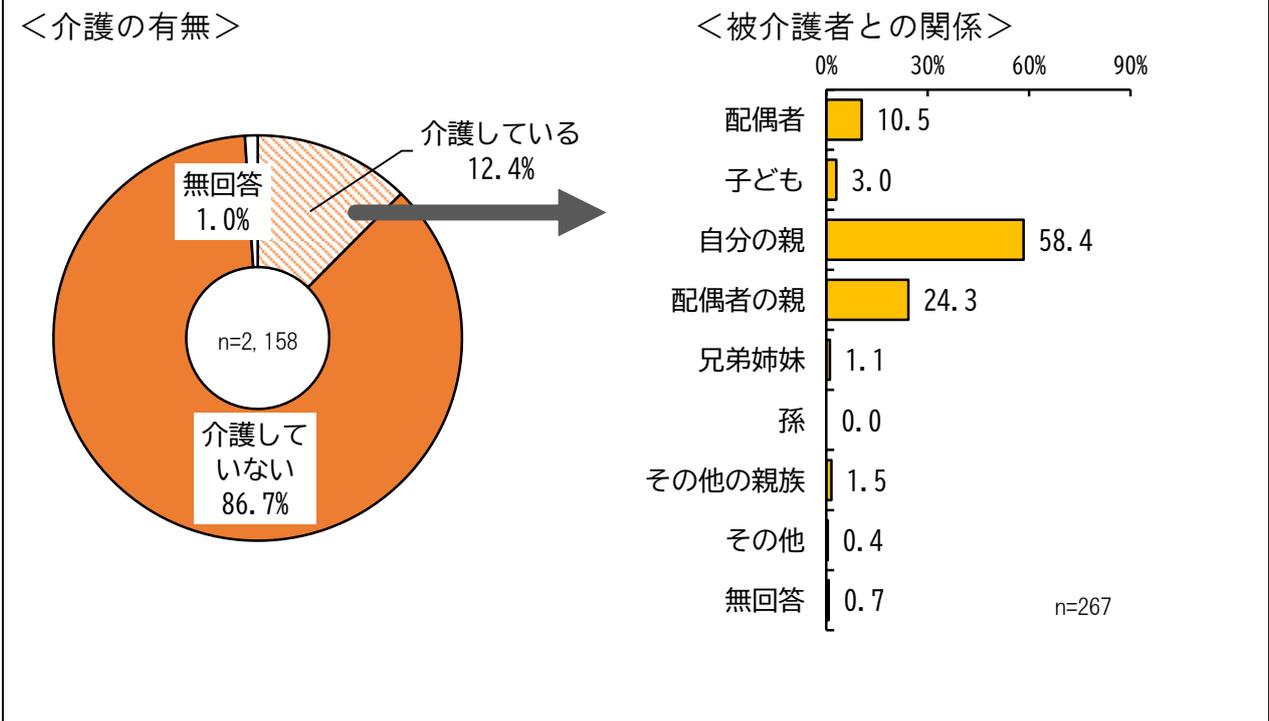


現在の医療の利用状況では、「定期的に通院している」60.5%が最も多く、以下「利用していない」39.1%、「入院中」0.1%となっています。

(7) 親族に対して介護をしているか・被介護者との関係

◇同居している方や、同居していない親族に対して介護をしていますか。(1つに○印) <問8>

◇介護されている方との関係を教えてください。(1つに○印) <問9>



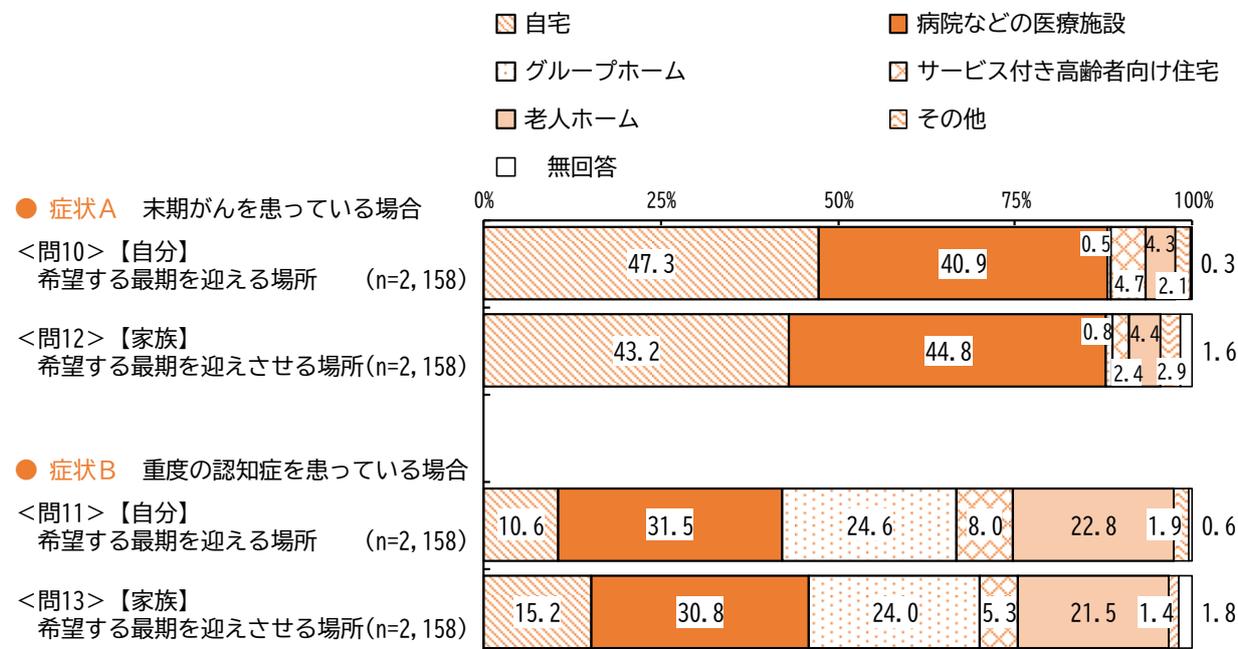
親族に対して介護をしているかでは、「介護していない」が86.7%、「介護している」が12.4%となっています。

被介護者との関係では、「自分の親」58.4%が最も多く、以下「配偶者の親」24.3%、「配偶者」10.5%、「子ども」3.0%、「その他の親族」1.5%となっています。

## 2 回復の難しい状態になった場合の希望について

### (8) どこで最期を迎えることを希望するか

◇症状Aや症状Bのような病状になった場合、どこで最期を迎えることを希望しますか。お考えに近いものを選んでください。(1つに○印) <問10、問11、問12、問13>



#### ● 症状A 末期がん

自分が希望する最期を迎える場所は、「自宅」47.3%が最も多く、以下「病院などの医療施設」40.9%、「サービス付き高齢者向け住宅」4.7%となっています。一方、家族に対する希望は、「病院などの医療施設」44.8%や「自宅」43.2%が多くなっています。

#### ● 症状B 重度の認知症

自分が希望する最期を迎える場所は、「病院などの医療施設」31.5%が最も多く、以下「グループホーム」24.6%、「老人ホーム」22.8%となっています。一方、家族に対する希望は、「病院などの医療施設」30.8%が最も多く、以下「グループホーム」24.0%、「老人ホーム」21.5%となっています。

### 参 考

#### ● 病状A 末期がん

～病状～

末期がんと診断され、状態は悪化し、今は食事にとりにくく、呼吸が苦しいといった状態です。しかし、痛みはなく、意識や判断力は健康な時と同様に保たれています。

～医療上の判断～

「回復の見込みはなく、およそ1年以内に、徐々にあるいは急に死に至る」とのことです。

#### ● 病状B 重度の認知症

～病状～

認知症が進行し、自分の居場所や家族の顔が分からず、食事や着替え、トイレなどの身の回りのことに手助けが必要な状態で、かなり衰弱が進んできました。

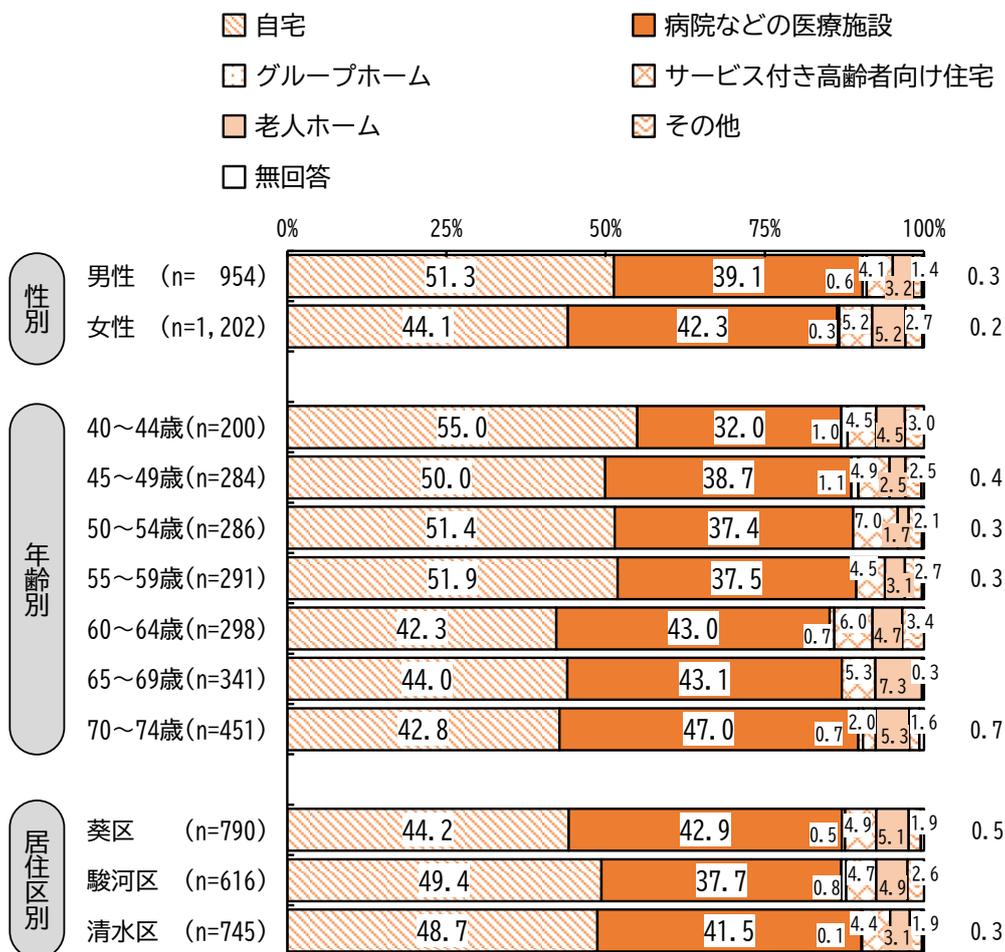
～医療上の判断～

「回復の見込みはなく、およそ1年以内に、徐々にあるいは急に死に至る」とのことです。

● 病状A 末期がんを患っている場合

クロス集計（性別・年齢別・居住区別）

<問 10> 【自分】希望する最期を迎える場所



(性別) 男性は、「自宅」51.3%が最も多くなっています。

女性は、「自宅」と「病院などの医療施設」が多く、4割となっています。

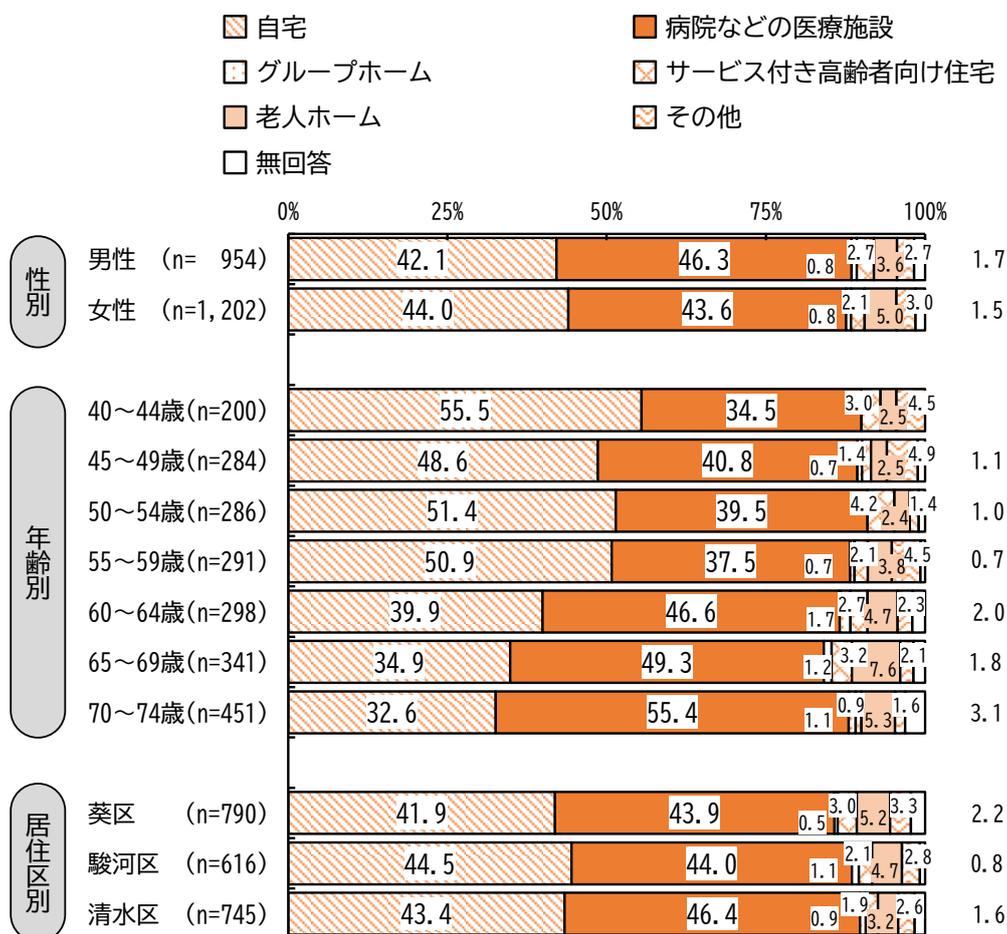
(年齢別) 40~59歳は「自宅」が最も多く、5割となっています。

60~69歳は、「自宅」と「病院などの医療施設」が多く、4割となっています。

70~74歳は、「病院などの医療施設」47.0%が、「自宅」よりもやや多くなっています。

(居住区別) 駿河区や清水区は、「病院などの医療施設」が最も多く、約5割となっています。

<問 12> 【家族】 希望する最期を迎えさせる場所



(性別) 性別による大きな差異はみられません。

(年齢別) 40～59歳は「自宅」が最も多く、約5割となっています。

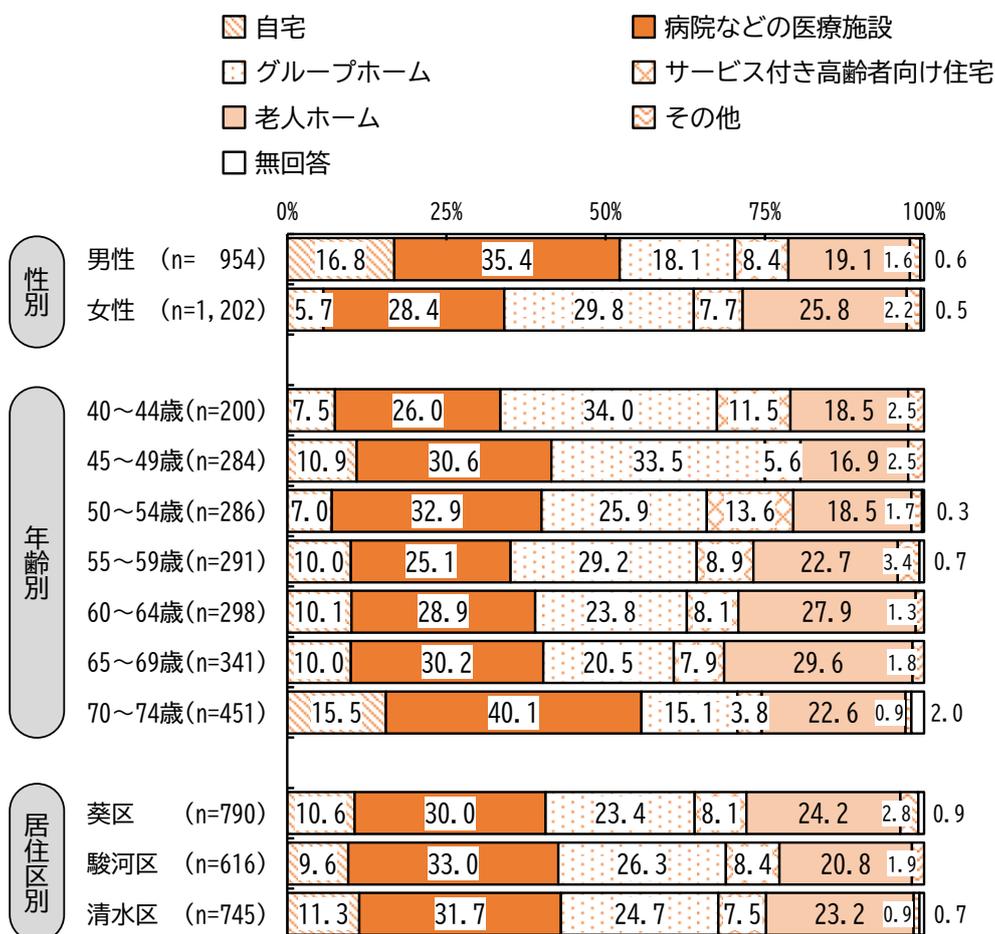
年齢が上がるほど「病院などの医療施設」が多く、70～74歳では55.4%となっています。

(居住区別) 居住区による大きな差異はみられません。

● 病状B 重度の認知症を患っている場合

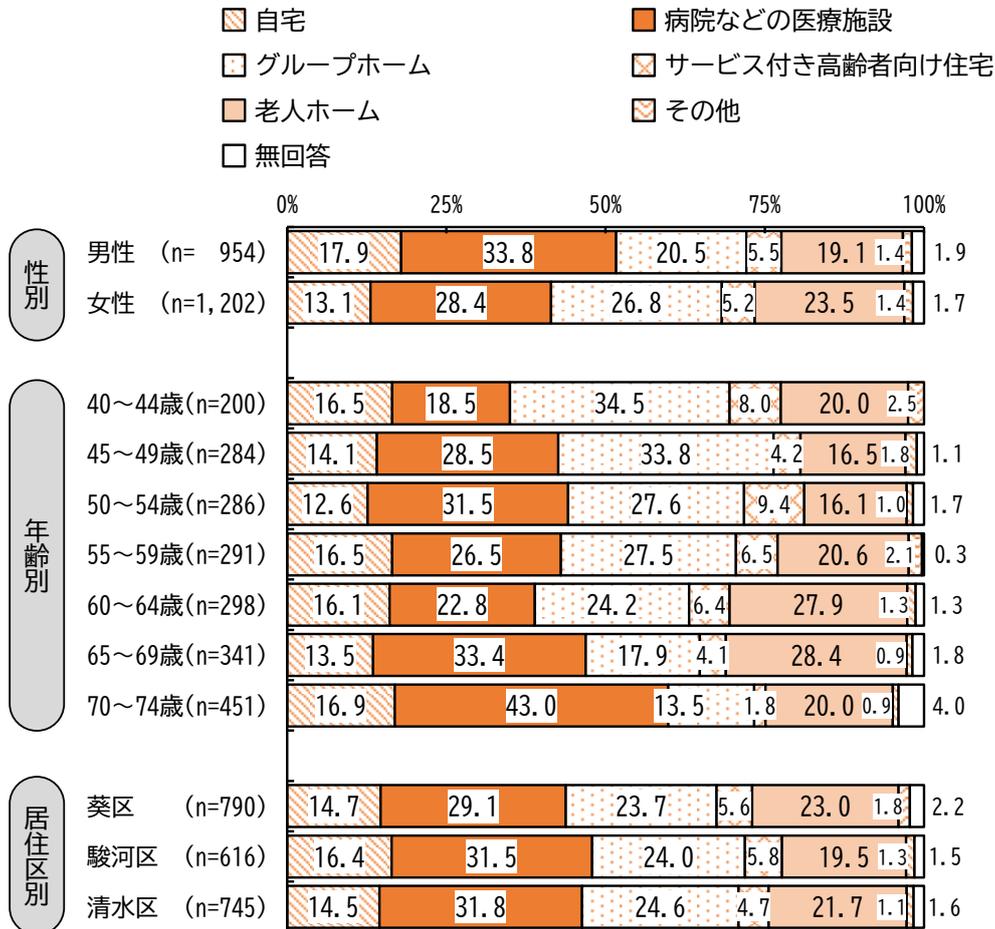
クロス集計（性別・年齢別・居住区別）

<問 11> 【自分】 希望する最期を迎える場所



- (性別) 男性は、「病院などの医療施設」35.4%が最も多くなっています。  
女性は、「グループホーム」と「病院などの医療施設」が多く、約3割となっています。
- (年齢別) 40～49歳は「グループホーム」が最も多く、3割となっています。  
50～54歳は、「病院などの医療施設」32.9%が最も多くなっています。  
55～59歳は、「グループホーム」29.2%が最も多くなっています。  
60～69歳は「病院などの医療施設」と「老人ホーム」が多く、約3割となっています。  
70～74歳は、「病院などの医療施設」40.1%が最も多くなっています。
- (居住区別) 居住区による大きな差異はみられません。

<問 13> 【家族】 希望する最期を迎えさせる場所



(性別) 男性は、「病院などの医療施設」33.8%が最も多くなっています。

女性は、「病院などの医療施設」、「グループホーム」、「老人ホーム」が多くなっています。

(年齢別) 40～49歳は「グループホーム」が最も多く、3割となっています。

50～54歳や65～69歳は「病院などの医療施設」が最も多く、3割となっています。

55～59歳は、「病院などの医療施設」と「グループホーム」が多く、2割半ばとなっています。

60～64歳は、「老人ホーム」27.9%が最も多くなっています。

70～74歳は、「病院などの医療施設」43.0%が最も多くなっています。

(居住区別) 居住区による大きな差異はみられません。

## (9) 自宅を選んだ理由

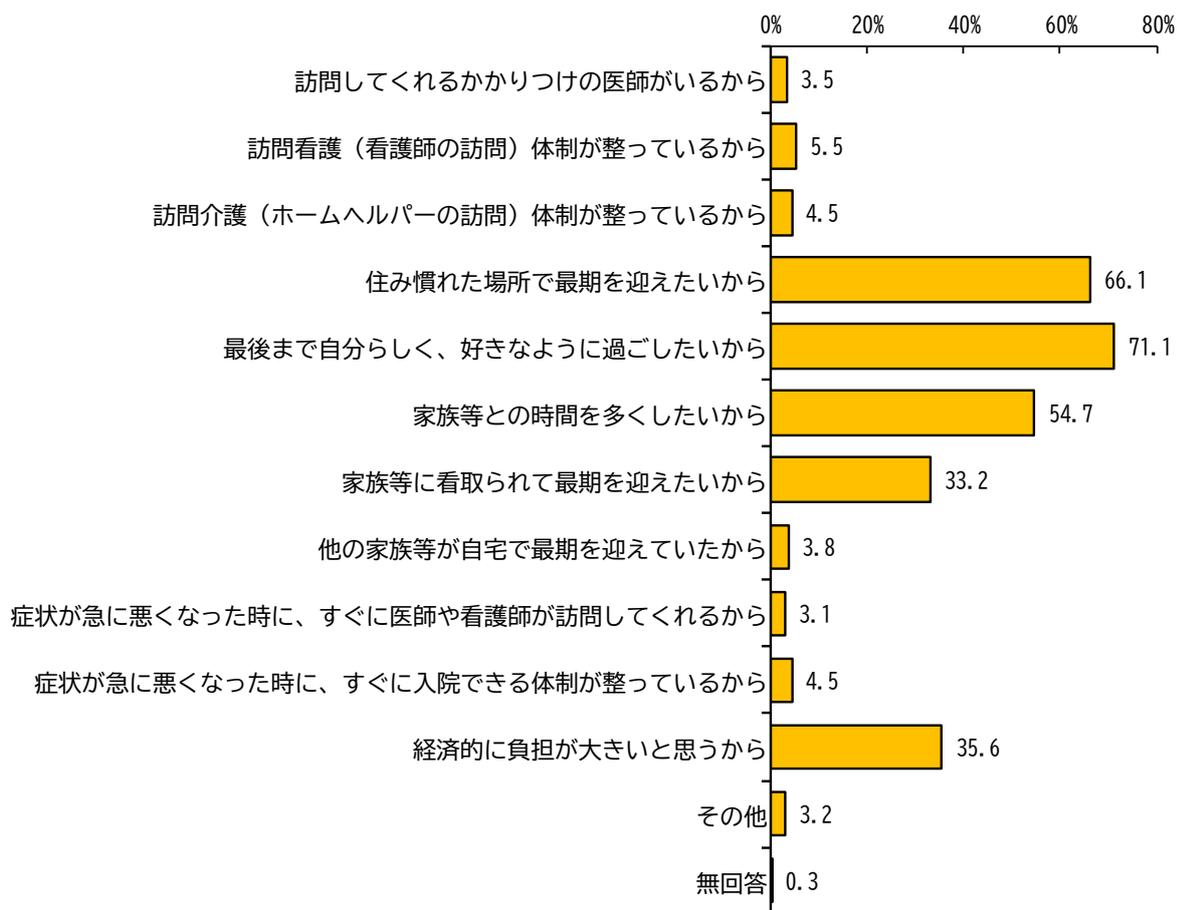
◇なぜ自宅を選択されたのか、お考えに近いものを選んでください。(複数回答可)

※「自宅」を選択された方のみ。

<問 10-1、12-1>

### ● 症状A 末期がんを患っている場合

■ <問10-1>【自分】自宅を選んだ理由(n=1,021)

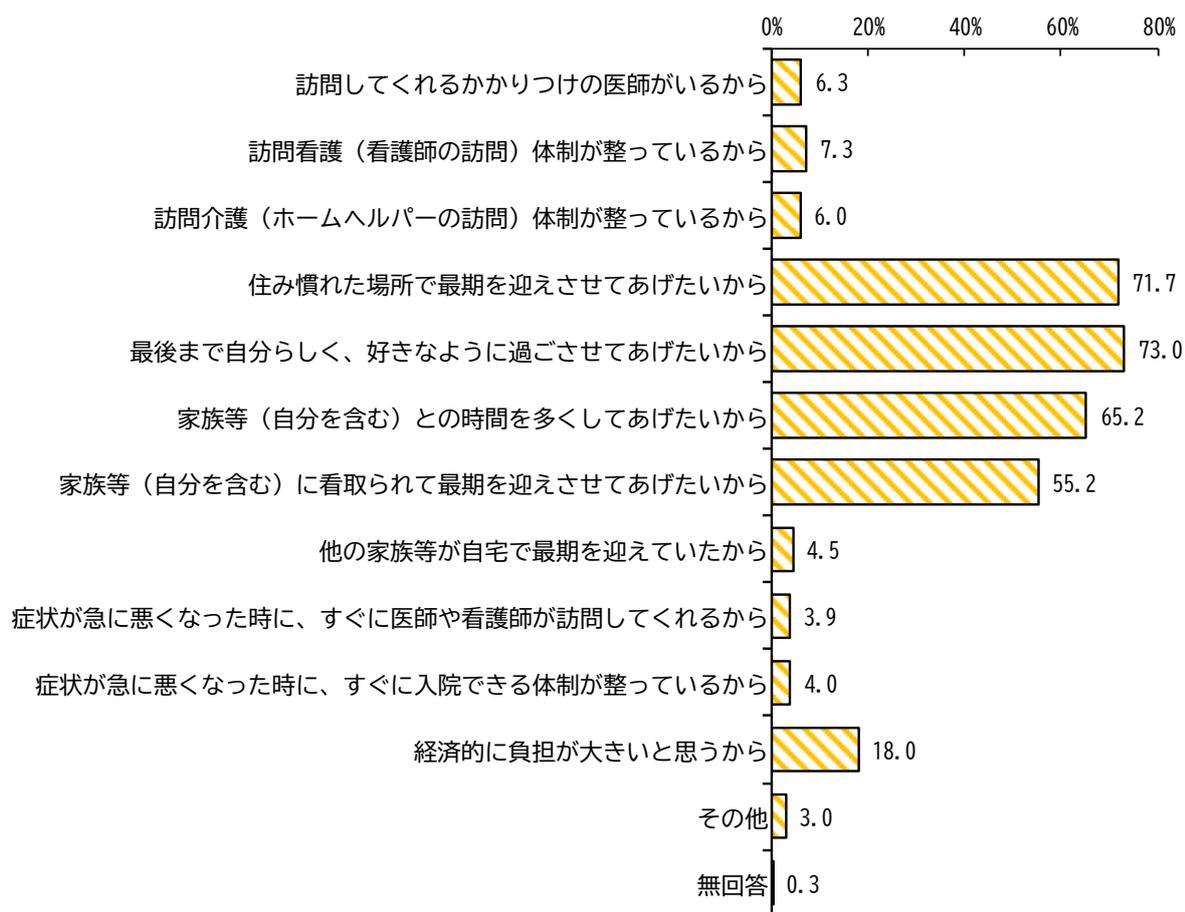


### ● 症状A 末期がん【自分】

自宅を選んだ理由は、「最後まで自分らしく、好きなように過ごしたいから」71.1%が最も多く、以下「住み慣れた場所で最期を迎えたいから」66.1%、「家族等との時間を多くしたいから」54.7%、「経済的に負担が大きいと思うから」35.6%、「家族等に看取られて最期を迎えたいから」33.2%となっています。

● 症状A 末期がんを患っている場合

■ <問12-1>【家族】自宅を選んだ理由(n=932)



● 症状A 末期がん【家族】

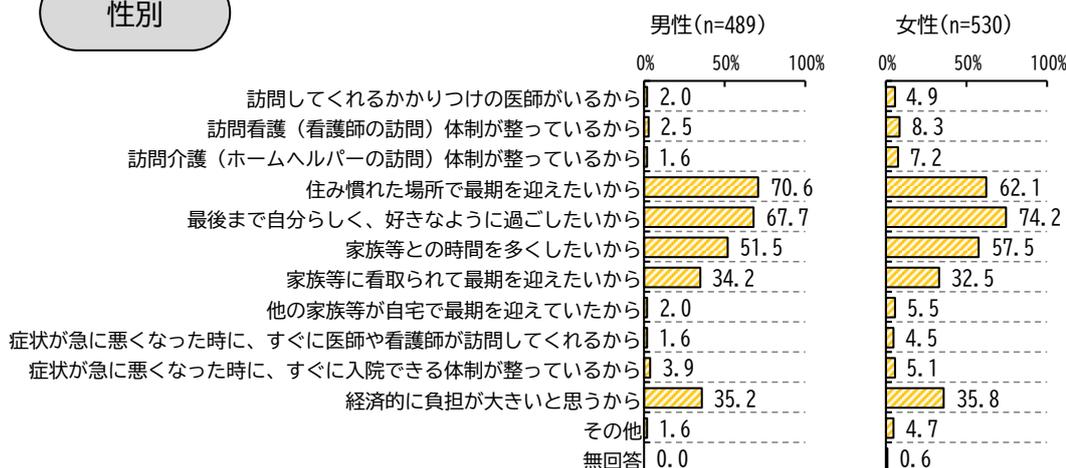
自宅を選んだ理由は、「最後まで自分らしく、好きなように過ごさせてあげたいから」73.0%が最も多く、以下「住み慣れた場所で最期を迎えさせてあげたいから」71.7%、「家族等（自分を含む）との時間を多くしてあげたいから」65.2%、「家族等（自分を含む）に看取られて最期を迎えさせてあげたいから」55.2%、「経済的に負担が大きいと思うから」18.0%となっています。

● 病状A 末期がんを患っている場合

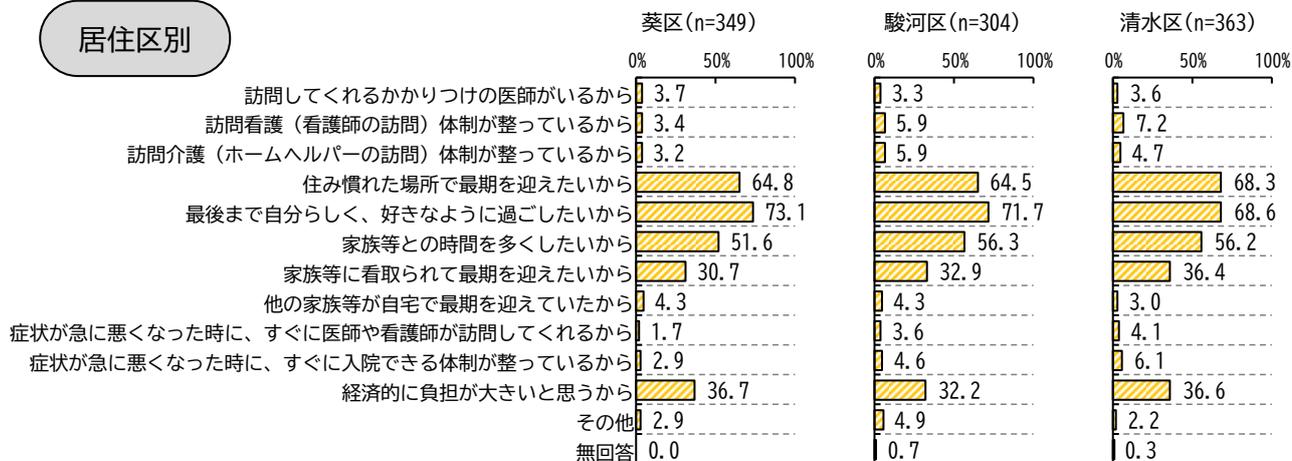
クロス集計（性別・居住区別）

<問 10-1> 【自分】 自宅を選んだ理由

性別



居住区別

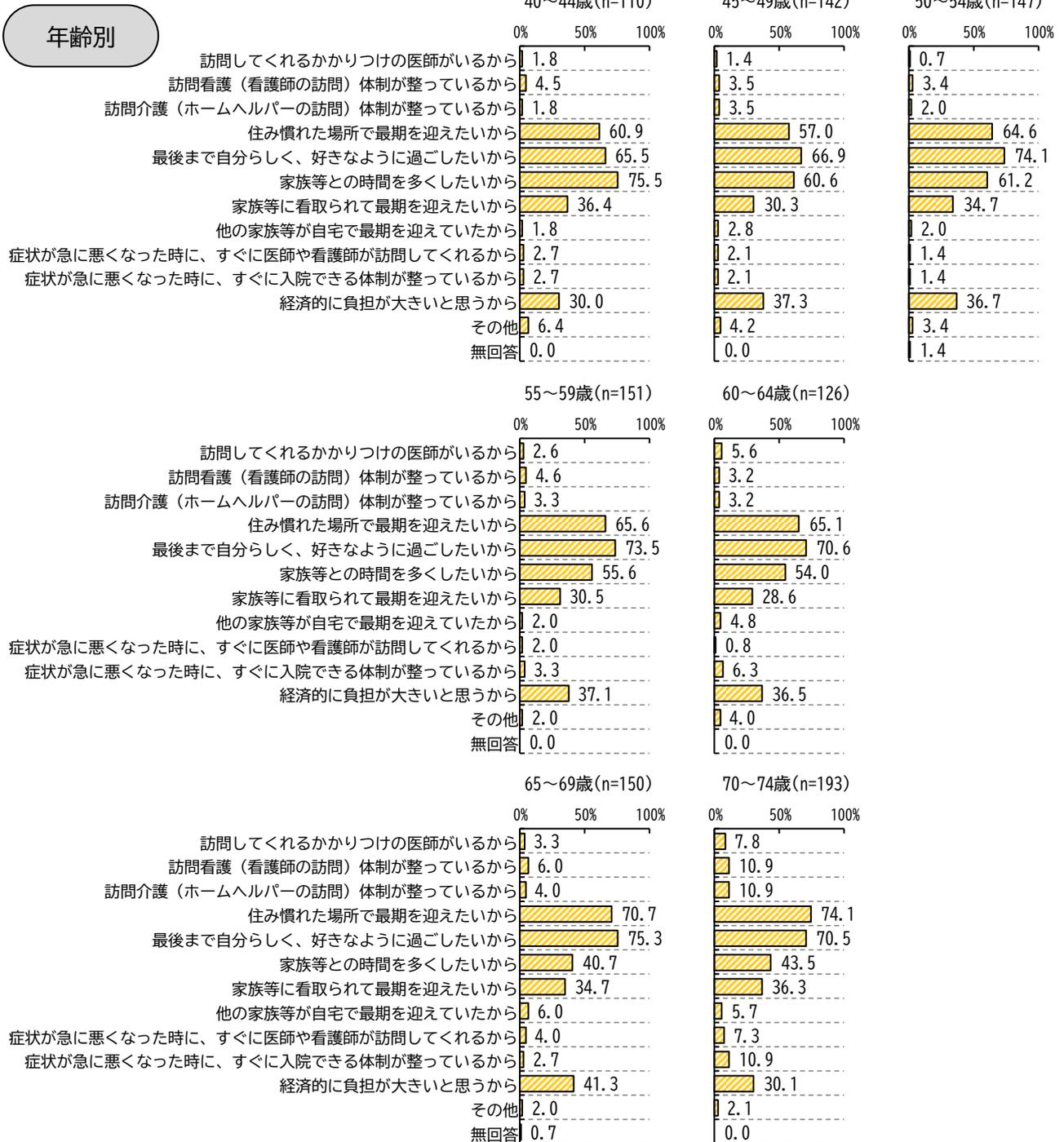


（性別）男性は、「住み慣れた場所で最期を迎えたいから」70.6%が最も多くなっています。女性は、「最後まで自分らしく、好きなように過ごしたいから」74.2%が最も多くなっています。

（居住区別）葵区と駿河区は「最後まで自分らしく、好きなように過ごしたいから」が最も多く、7割となっています。

清水区は、「住み慣れた場所で最期を迎えたいから」と「最後まで自分らしく、好きなように過ごしたいから」が多く、約7割となっています。

## クロス集計（年齢別）



（年齢別）40～44歳は、「家族との時間を多くしたいから」75.5%が最も多くなっています。

45～69歳は「最後まで自分らしく、好きなように過ごしたいから」が最も多く、50代以上では7割を超えています。

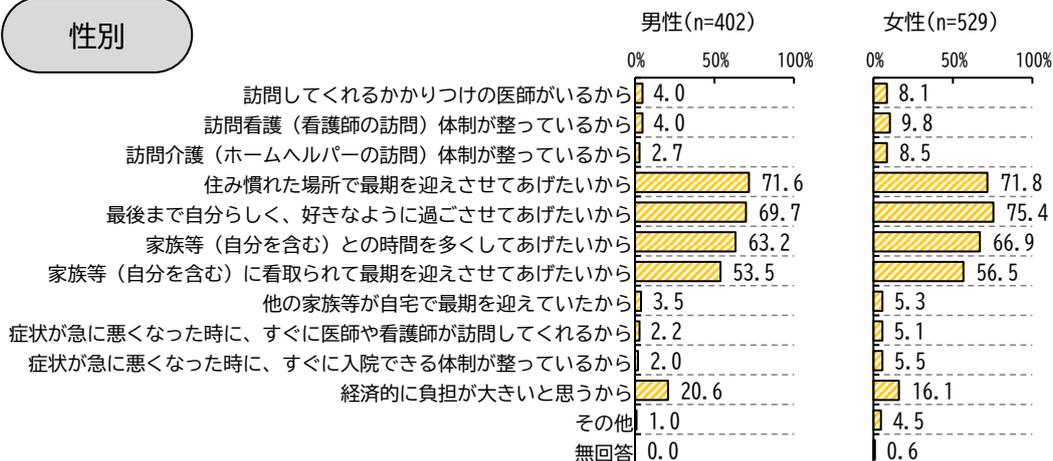
70～74歳は、「住み慣れた場所で最期を迎えたいから」74.1%が最も多くなっています。

● 病状A 末期がんを患っている場合

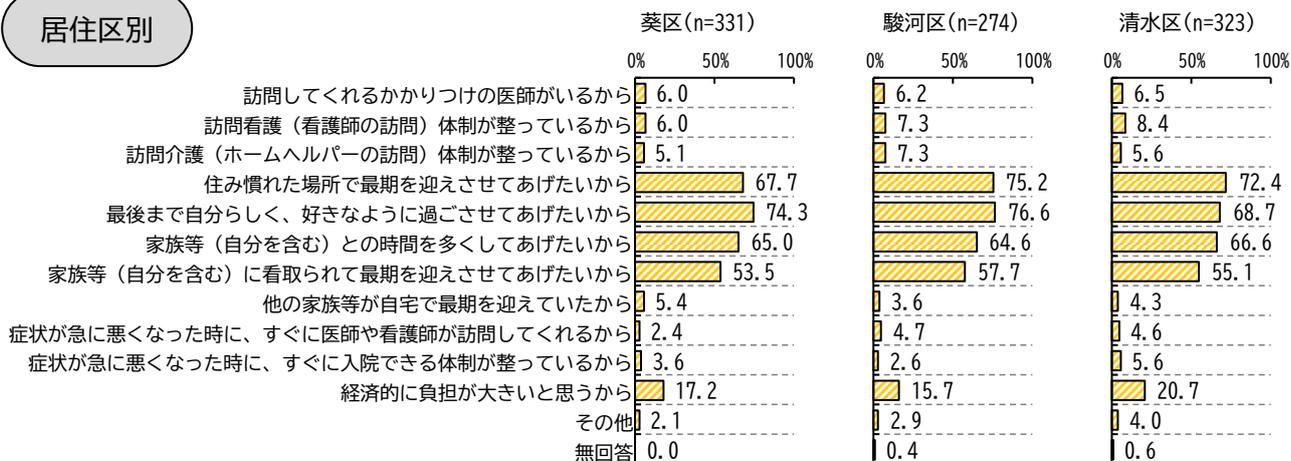
クロス集計（性別・居住区別）

<問 12-1> 【家族】 自宅を選んだ理由

性別



居住区別



（性別）男性は、「住み慣れた場所で最期を迎えさせてあげたいから」71.6%が最も多くなっています。

女性は、「最後まで自分らしく、好きなように過ごさせてあげたいから」75.4%が最も多くなっています。

（居住区別）葵区は、「最後まで自分らしく、好きなように過ごさせてあげたいから」74.3%が最も多くなっています。

駿河区は、「住み慣れた場所で最期を迎えさせてあげたいから」と「最後まで自分らしく、好きなように過ごさせてあげたいから」が多く、7割半ばとなっています。

清水区は、「住み慣れた場所で最期を迎えさせてあげたいから」72.4%が最も多くなっています。



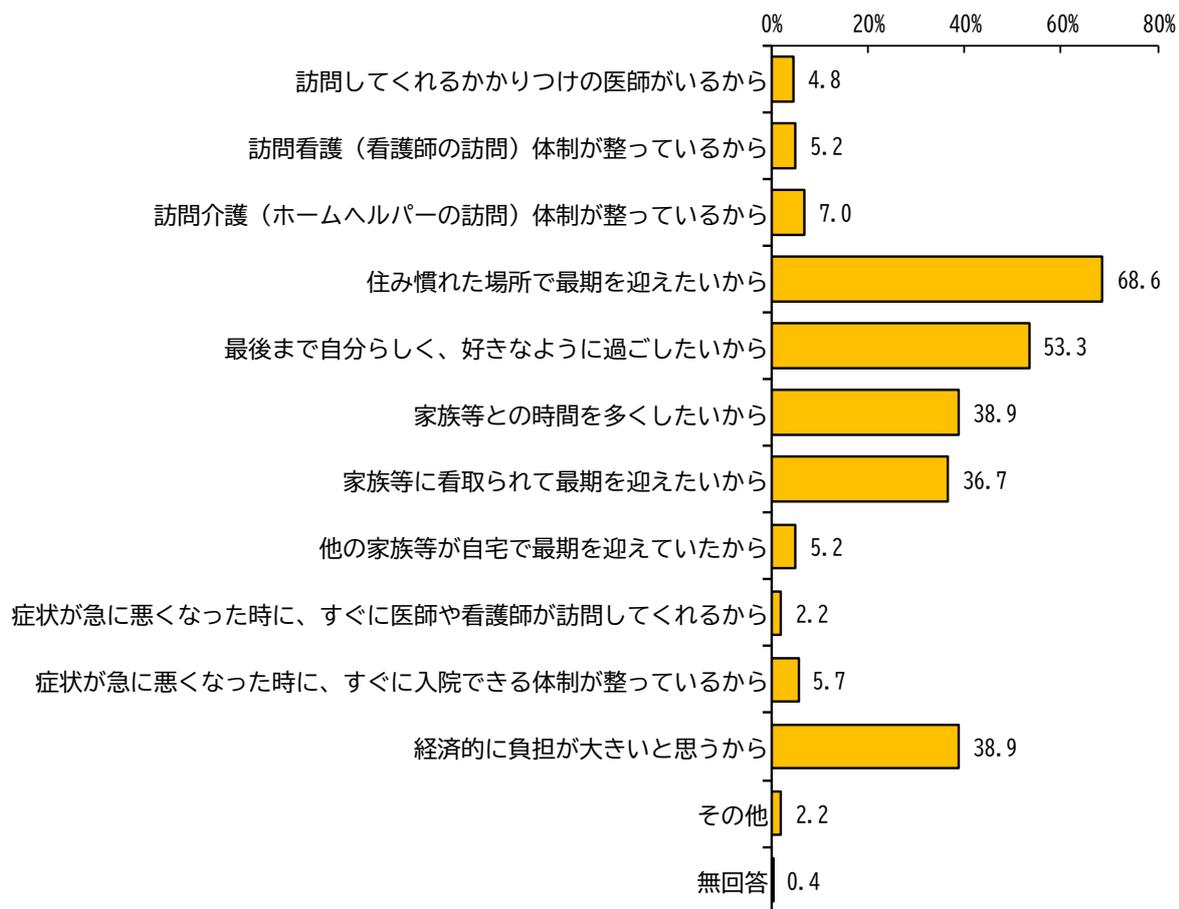
◇なぜ自宅を選択されたのか、お考えに近いものを選んでください。(複数回答可)

※「自宅」を選択された方のみ。

<問 11-1、13-1>

● 病状 B 重度の認知症を患っている場合

■ <問11-1> 【自分】自宅を選んだ理由(n=229)

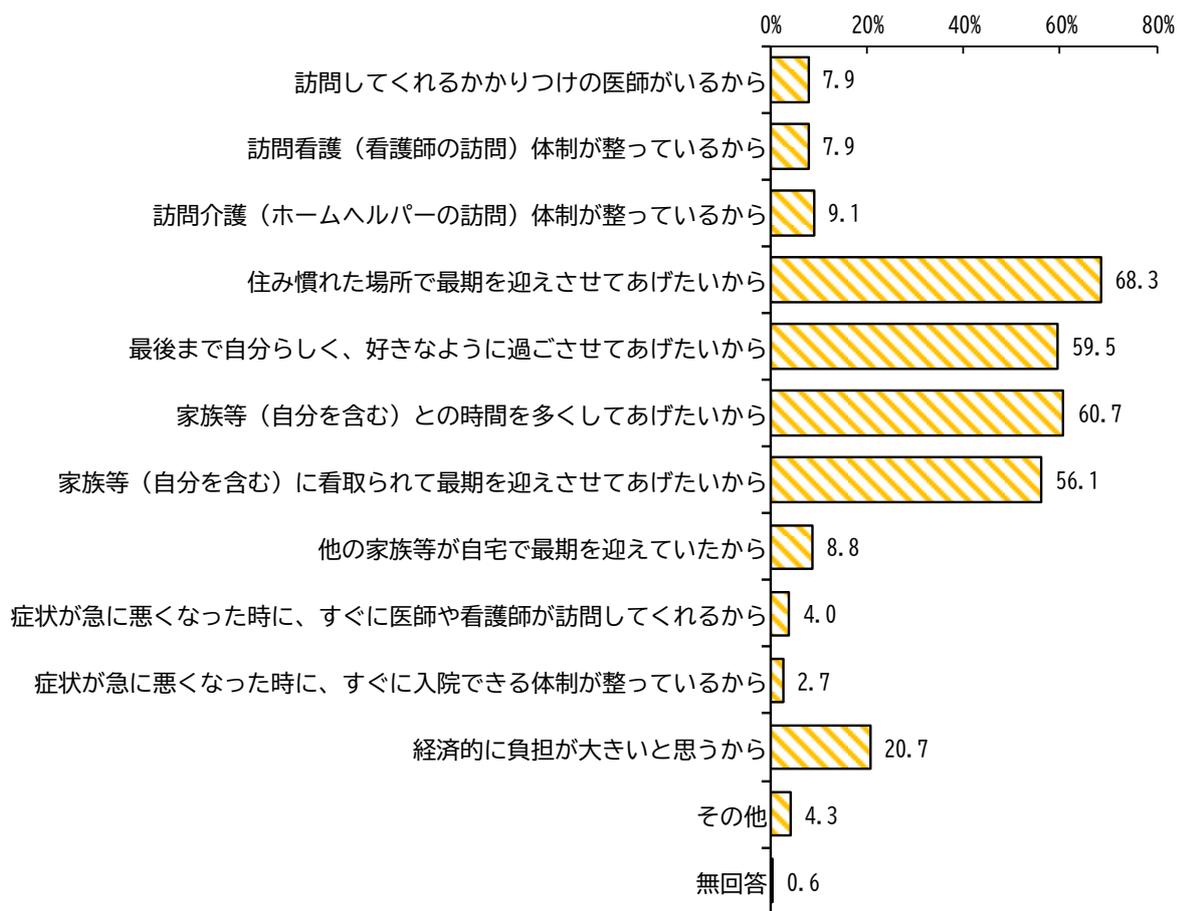


● 症状 B 重度の認知症【自分】

自宅を選んだ理由は、「住み慣れた場所で最期を迎えたいから」68.6%が最も多く、以下「最後まで自分らしく、好きなように過ごしたいから」53.3%、「家族等との時間を多くしたいから」と「経済的に負担が大きいと思うから」が38.9%、「家族等に看取られて最期を迎えたいから」36.7%となっています。

● 病状B 重度の認知症を患っている場合

■ <問13-1> 【家族】 自宅を選んだ理由(n=328)



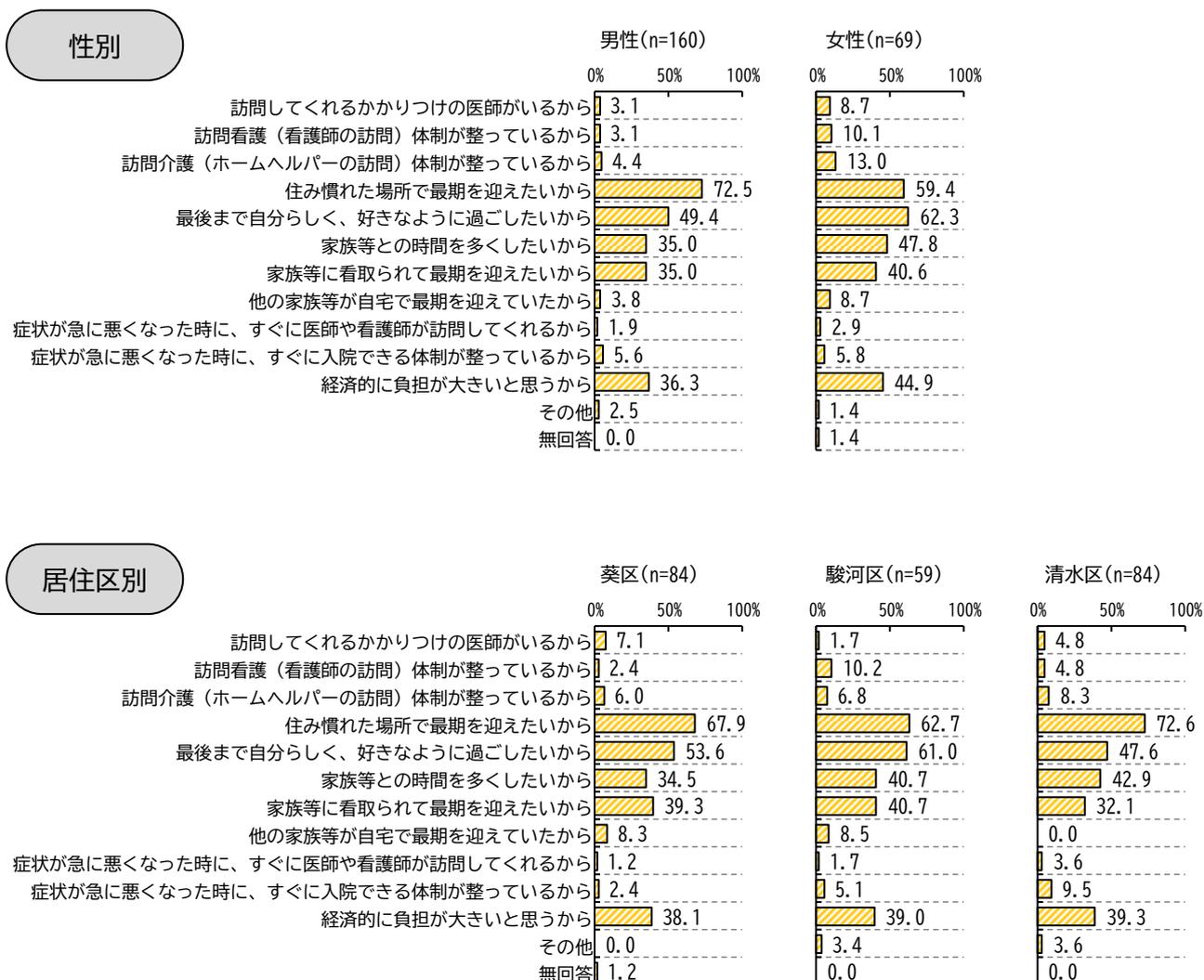
● 症状B 重度の認知症【家族】

自宅を選んだ理由は、「住み慣れた場所で最期を迎えさせてあげたいから」68.3%が最も多く、以下「家族等（自分を含む）との時間を多くしてあげたいから」60.7%、「最後まで自分らしく、好きなように過ごさせてあげたいから」59.5%、「家族等（自分を含む）に看取られて最期を迎えさせてあげたいから」56.1%、「経済的に負担が大きいと思うから」20.7%となっています。

## ● 病状B 重度の認知症を患っている場合

### クロス集計（性別・居住区別）

#### <問 11-1> 【自分】 自宅を選んだ理由



（性別）男性は、「住み慣れた場所で最期を迎えたいから」が、女性よりも10ポイント以上高くなっています。

女性は、「最後まで自分らしく、好きなように過ごしたいから」と「家族等との時間を多くしたいから」が、男性よりも10ポイント以上高くなっています。

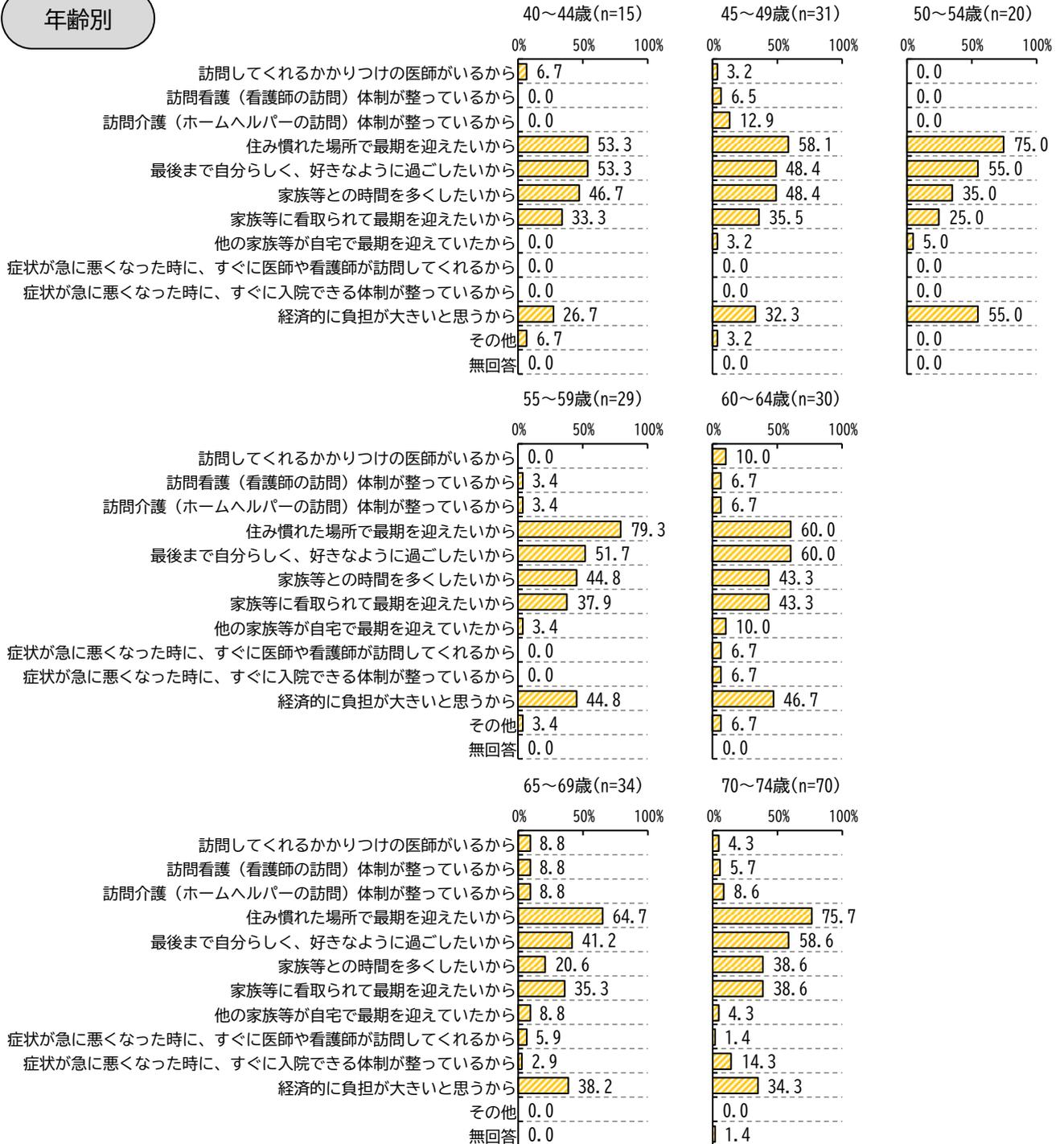
（居住区別）葵区と清水区は、「住み慣れた場所で最期を迎えたいから」が最も多くなっています。

駿河区は、「住み慣れた場所で最期を迎えたいから」と「最後まで自分らしく、好きなように過ごしたいから」が多く、6割となっています。

（年齢別）年齢別の結果は、グラフのとおりとなっています。

## クロス集計（年齢別）

### 年齢別

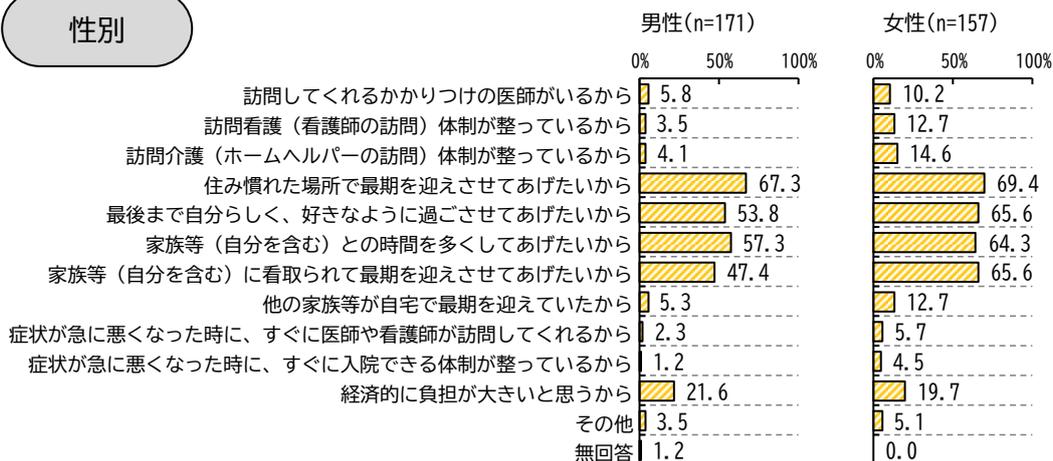


● 病状B 重度の認知症を患っている場合

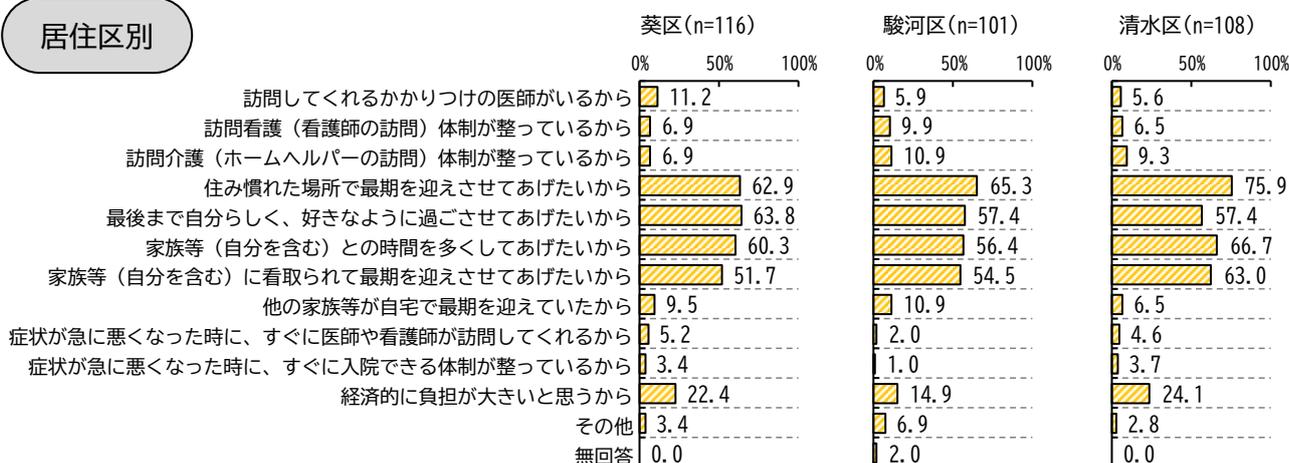
クロス集計（性別・居住区別）

<問 13-1> 【家族】 自宅を選んだ理由

性別



居住区別



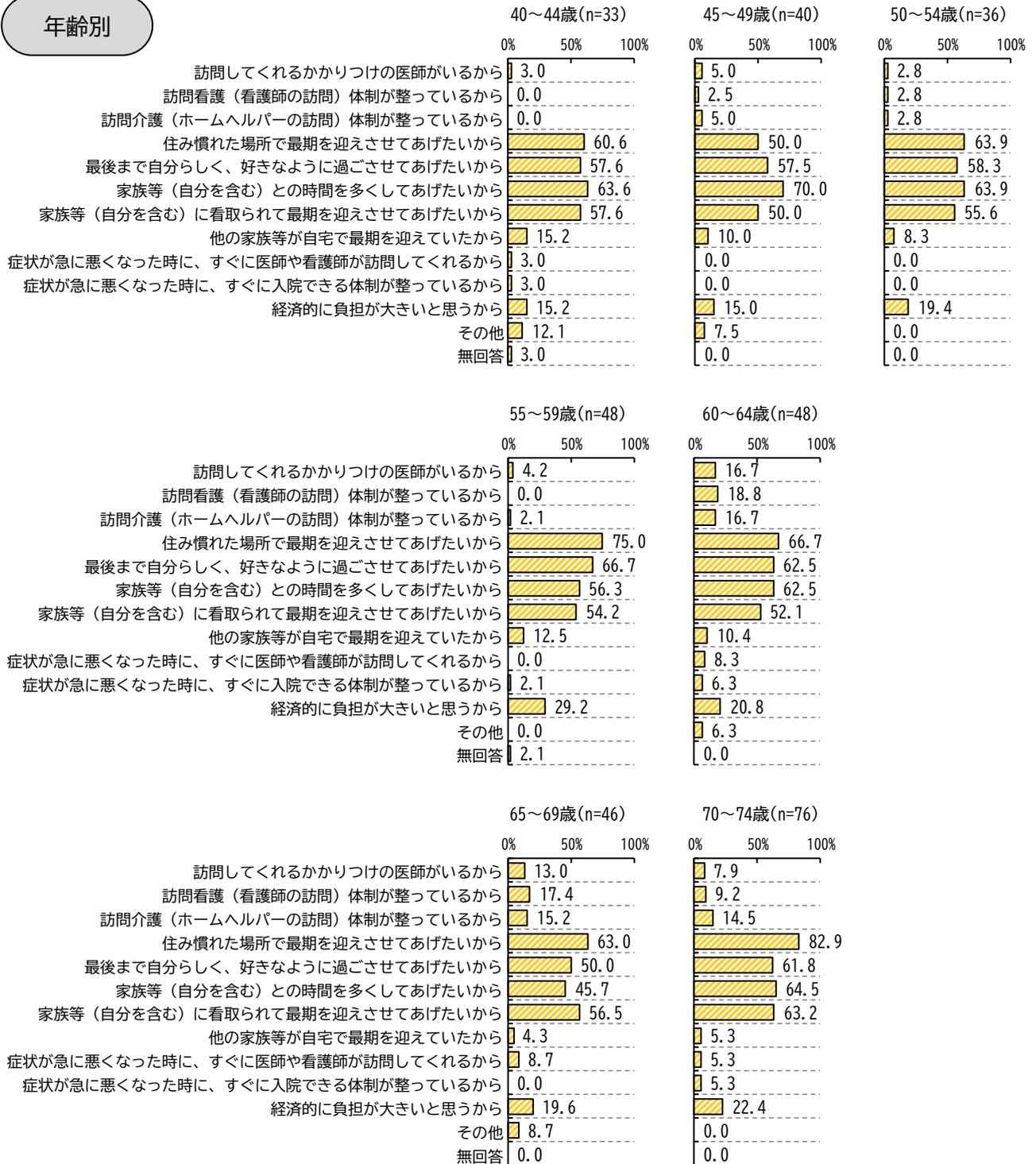
（性別）女性は、「最後まで自分らしく、好きなように過ごさせてあげたいから」、「家族等（自分を含む）に看取られて最期を迎えさせてあげたいから」、「訪問介護（ホームヘルパーの訪問）体制が整っているから」が、男性よりも 10 ポイント以上高くなっています。

（居住区別）清水区は、「住み慣れた場所で最期を迎えさせてあげたいから」が、他の居住区よりも 10 ポイント以上高くなっています。

（年齢別）年齢別の結果は、グラフのとおりとなっています。

## クロス集計（年齢別）

### 年齢別



## (10) 自宅以外を選んだ理由

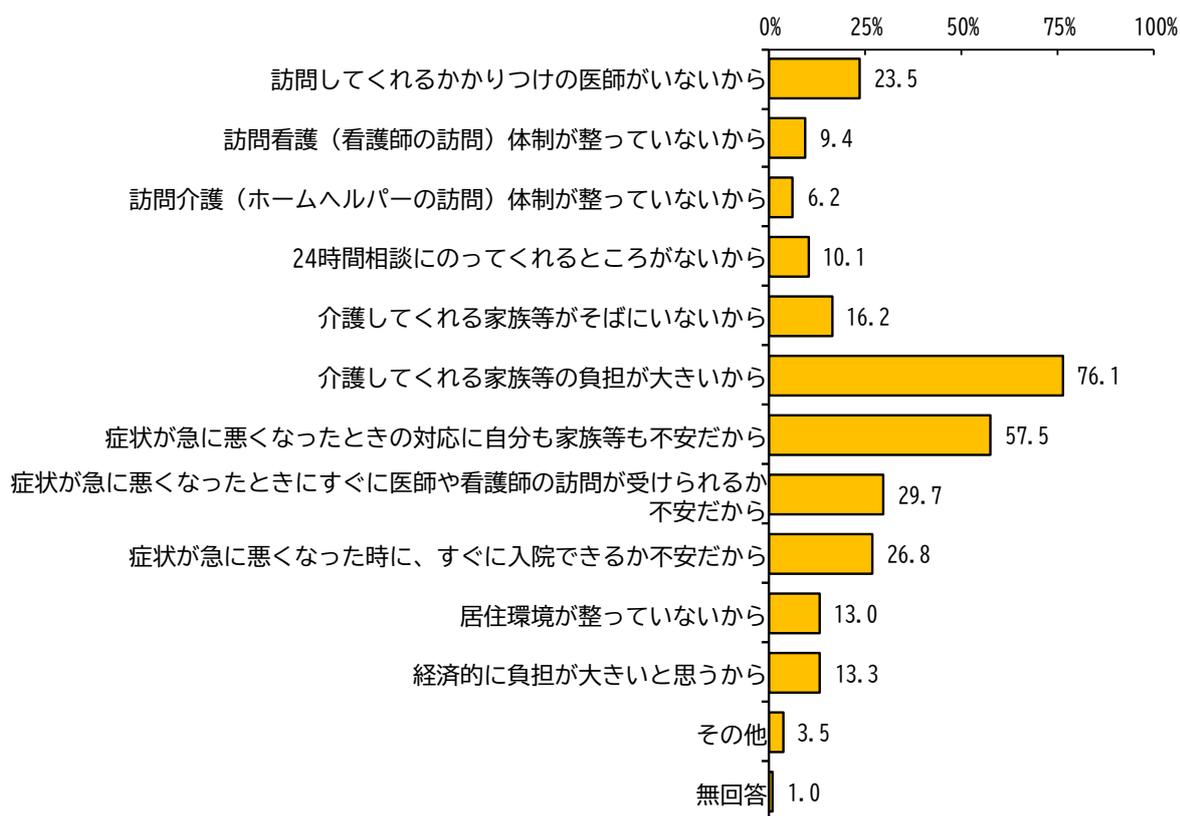
◇なぜ自宅以外を選択されたのか、お考えに近いものを選んでください。(複数回答可)

※「自宅以外」を選択された方のみ。

<問 10-2、12-2>

### ● 症状A 末期がんを患っている場合

■ <問10-2> 【自分】自宅以外を選んだ理由(n=1,131)

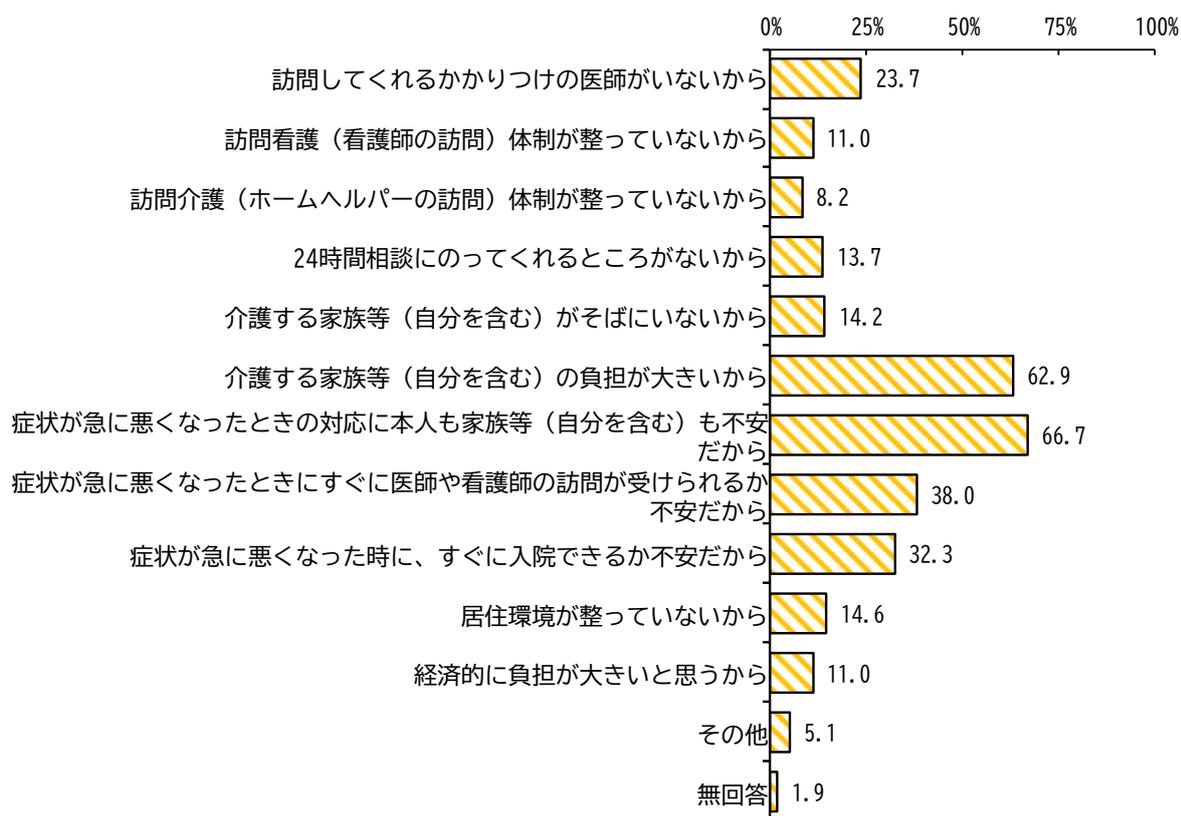


### ● 症状A 末期がん【自分】

自宅以外を選んだ理由は、「介護してくれる家族等の負担が大きいから」76.1%が最も多く、以下「症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族等も不安だから」57.5%、「症状が急に悪くなったときにすぐに医師や看護師の訪問が受けられるか不安だから」29.7%、「症状が急に悪くなった時に、すぐに入院できるか不安だから」26.8%、「訪問してくれるかかりつけの医師がないから」23.5%となっています。

● 症状A 末期がんを患っている場合

■ <問12-2> 【家族】 自宅以外を選んだ理由(n=1,192)



● 症状A 末期がん【家族】

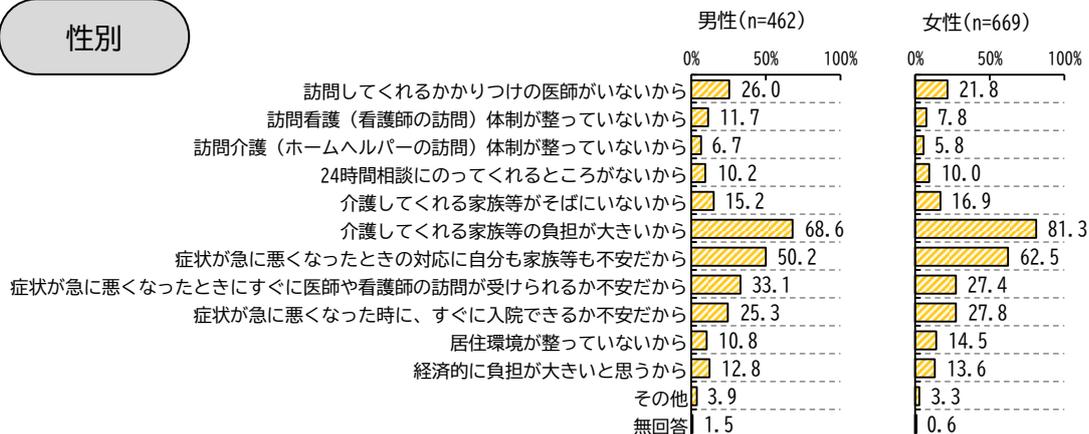
自宅以外を選んだ理由は、「症状が急に悪くなったときの対応に本人も家族等（自分を含む）も不安だから」66.7%が最も多く、以下「介護する家族等（自分を含む）の負担が大きいから」62.9%、「症状が急に悪くなったときにすぐに医師や看護師の訪問が受けられるか不安だから」38.0%、「症状が急に悪くなった時に、すぐに入院できるか不安だから」32.3%、「訪問してくれるかかりつけの医師がないから」23.7%となっています。

● 病状A 末期がんを患っている場合

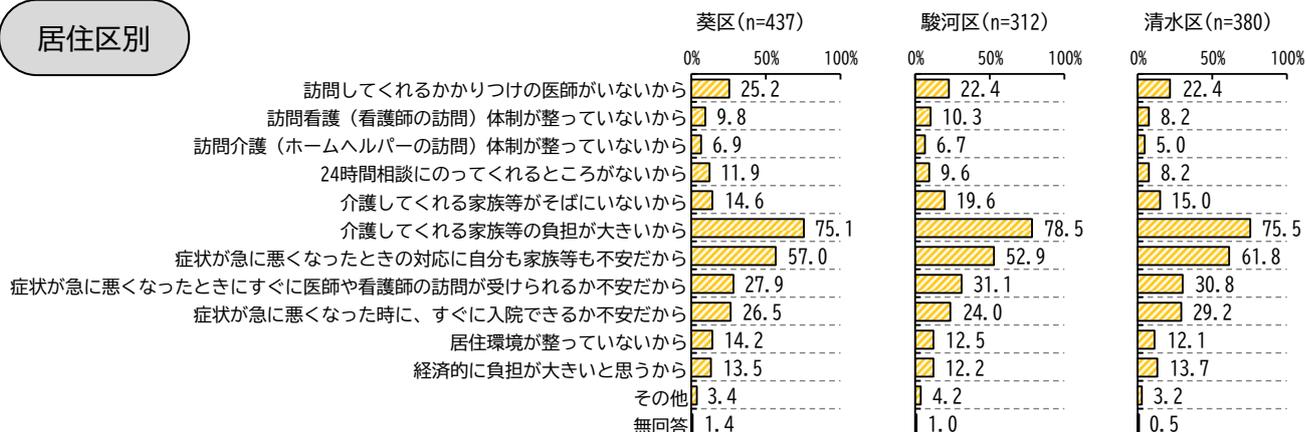
クロス集計（性別・居住区別）

<問 10-2> 【自分】 自宅以外を選んだ理由

性別



居住区別



（性別）女性は、「介護してくれる家族等の負担が大きいため」と「症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族等も不安だから」が、男性よりも 10 ポイント以上高くなっています。

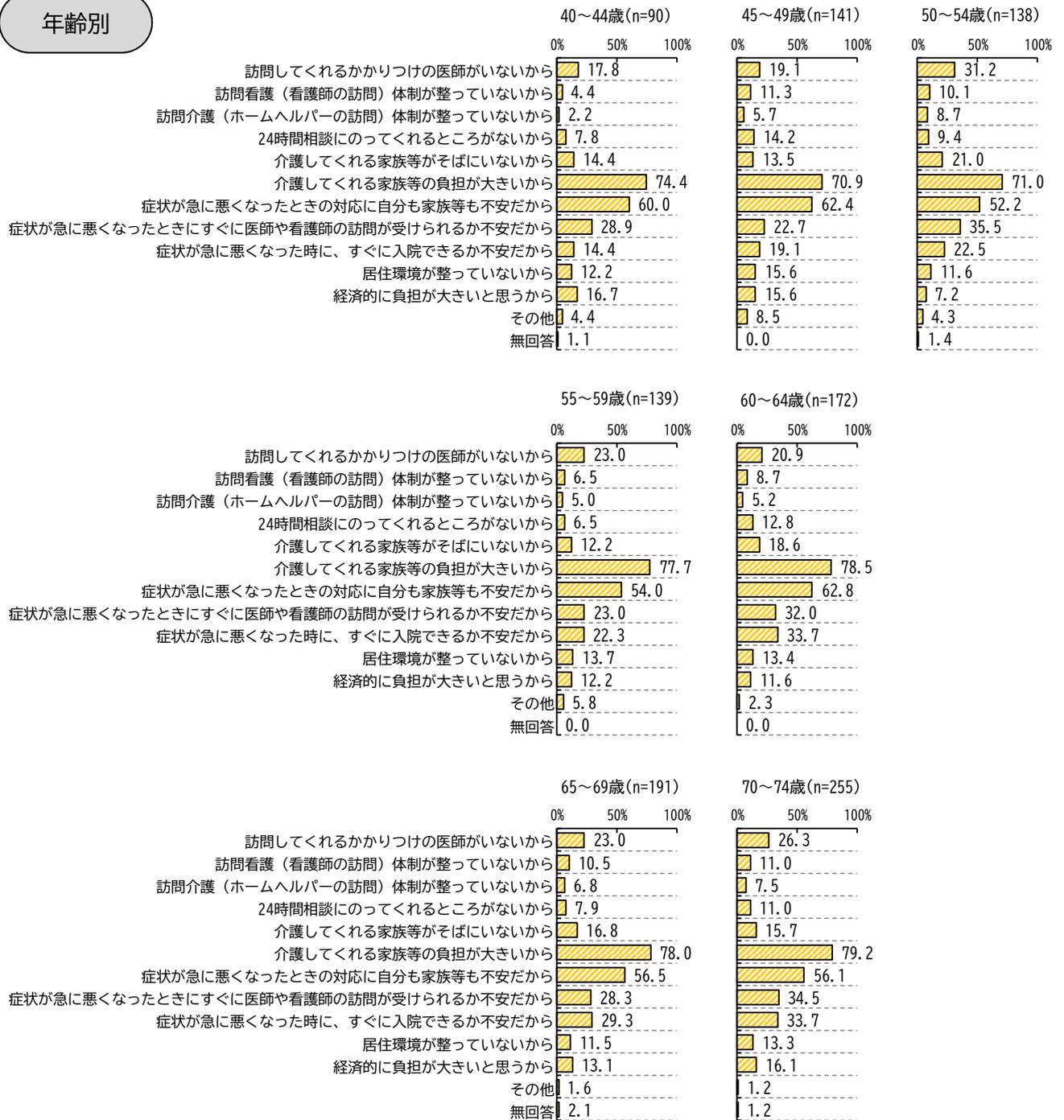
（居住区別）居住区による大きな差異はみられません。

（年齢別）すべての年齢で「介護してくれる家族等の負担が大きいため」が最も多く、60代以上では約8割となっています。

50～54歳は「訪問してくれるかかりつけの医師がないから」31.2%が、他の年齢よりもやや多くなっています。

## クロス集計（年齢別）

### 年齢別

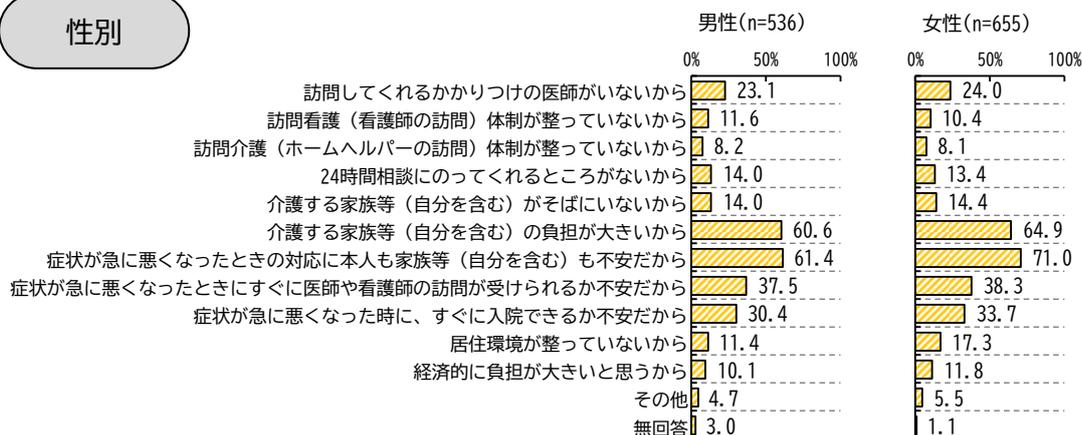


● 病状A 末期がんを患っている場合

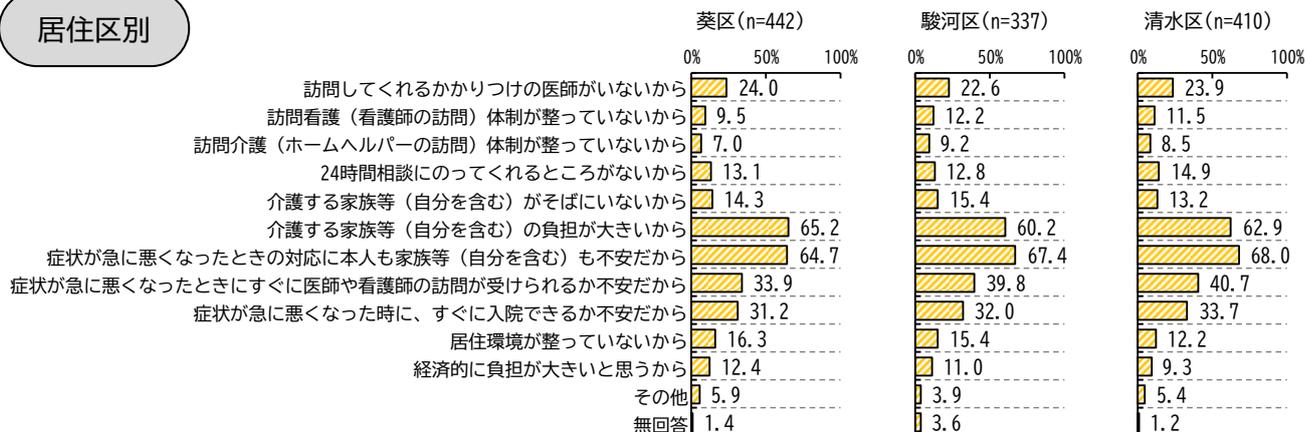
クロス集計（性別・居住区別）

<問 12-2> 【家族】 自宅以外を選んだ理由

性別



居住区別



（性別）男性は、「介護する家族等（自分を含む）の負担が大きいから」と「症状が急に悪くなったときの対応に本人も家族等（自分を含む）も不安だから」が多く、6割となっています。

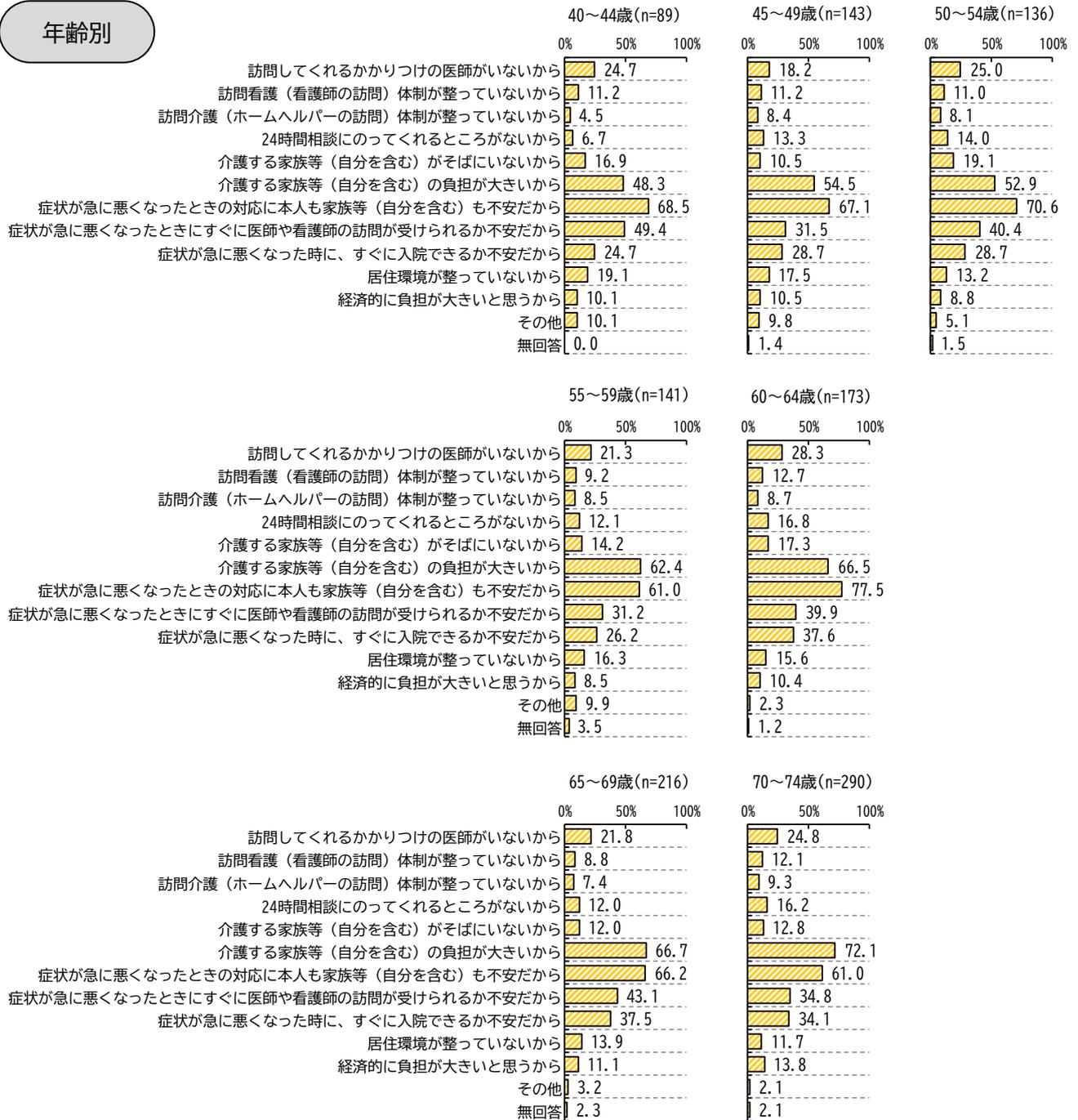
女性は、「症状が急に悪くなったときの対応に本人も家族等（自分を含む）も不安だから」71.0%が最も多くなっています。

（居住区別）葵区は、「介護する家族等（自分を含む）の負担が大きいから」と「症状が急に悪くなったときの対応に本人も家族等（自分を含む）も不安だから」が多く、6割半ばとなっています。

駿河区と清水区は、「症状が急に悪くなったときの対応に本人も家族等（自分を含む）も不安だから」が最も多くなっています。

## クロス集計（年齢別）

### 年齢別



（年齢別）60～64歳は、「症状が急に悪くなったときの対応に本人も家族等（自分を含む）も不安だから」77.5%が、他の年齢よりも多くなっています。

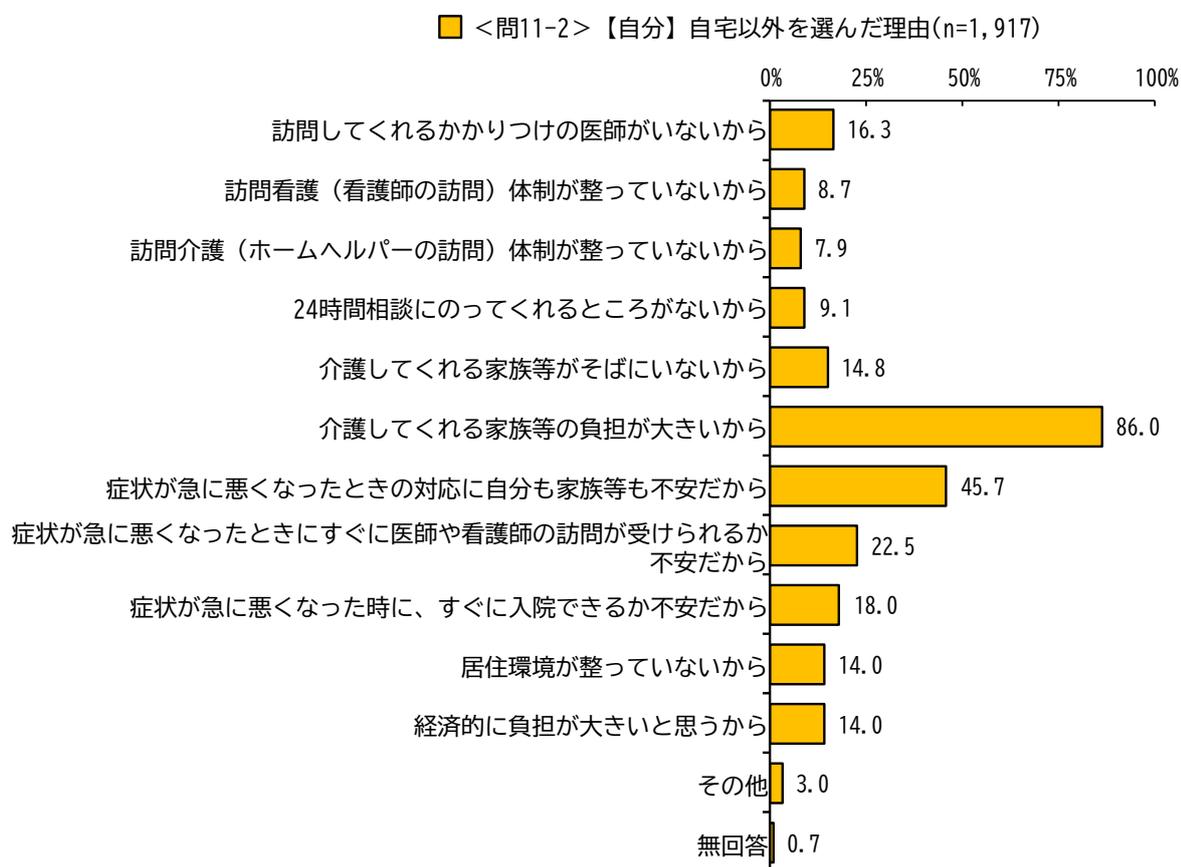
年齢が上がるほど「介護する家族等（自分を含む）の負担が大きいから」が多く、70～74歳では72.1%となっています。

◇なぜ自宅以外を選択されたのか、お考えに近いものを選んでください。(複数回答可)

※「自宅以外」を選択された方のみ。

<問 11-2、13-2>

● 症状B 重度の認知症を患っている場合

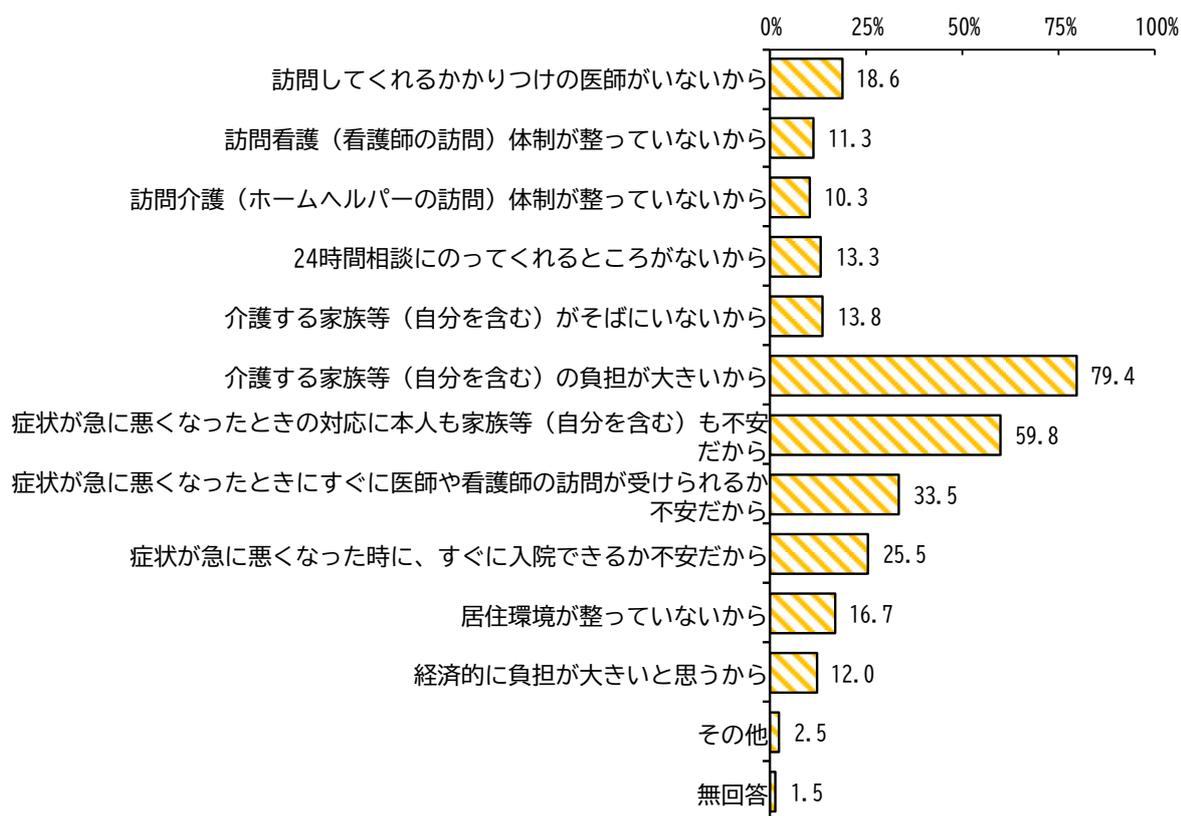


● 症状B 重度の認知症【自分】

自宅以外を選んだ理由は、「介護してくれる家族等の負担が大きいから」86.0%が最も多く、以下「症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族等も不安だから」45.7%、「症状が急に悪くなったときにすぐに医師や看護師の訪問が受けられるか不安だから」22.5%、「症状が急に悪くなった時に、すぐに入院できるか不安だから」18.0%、「訪問してくれるかかりつけの医師がないから」16.3%となっています。

● 症状B 重度の認知症を患っている場合

■ <問13-2> 【家族】 自宅以外を選んだ理由(n=1,792)



● 症状B 重度の認知症【家族】

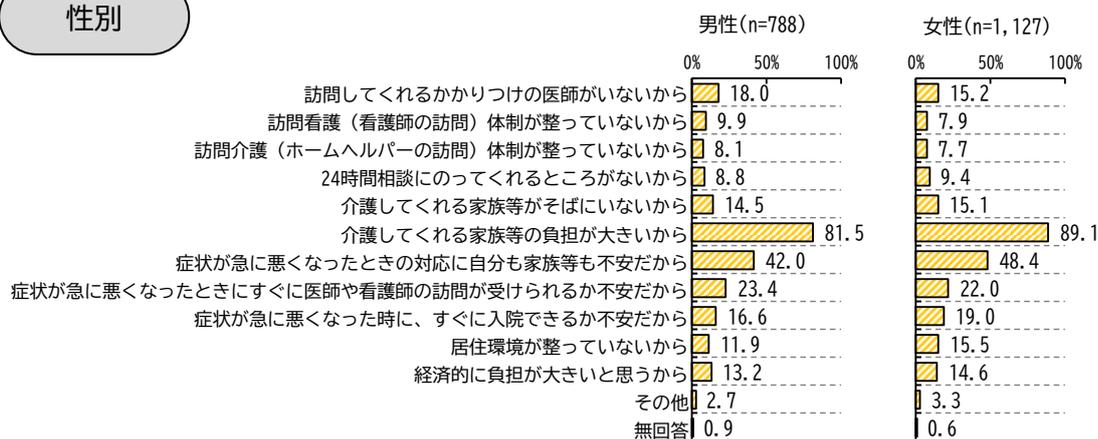
自宅以外を選んだ理由は、「介護する家族等（自分を含む）の負担が大きいから」79.4%が最も多く、以下「症状が急に悪くなったときの対応に本人も家族等（自分を含む）も不安だから」59.8%、「症状が急に悪くなったときにすぐに医師や看護師の訪問が受けられるか不安だから」33.5%、「症状が急に悪くなった時に、すぐに入院できるか不安だから」25.5%、「訪問してくれるかかりつけの医師がないから」18.6%となっています。

● 病状B 重度の認知症を患っている場合

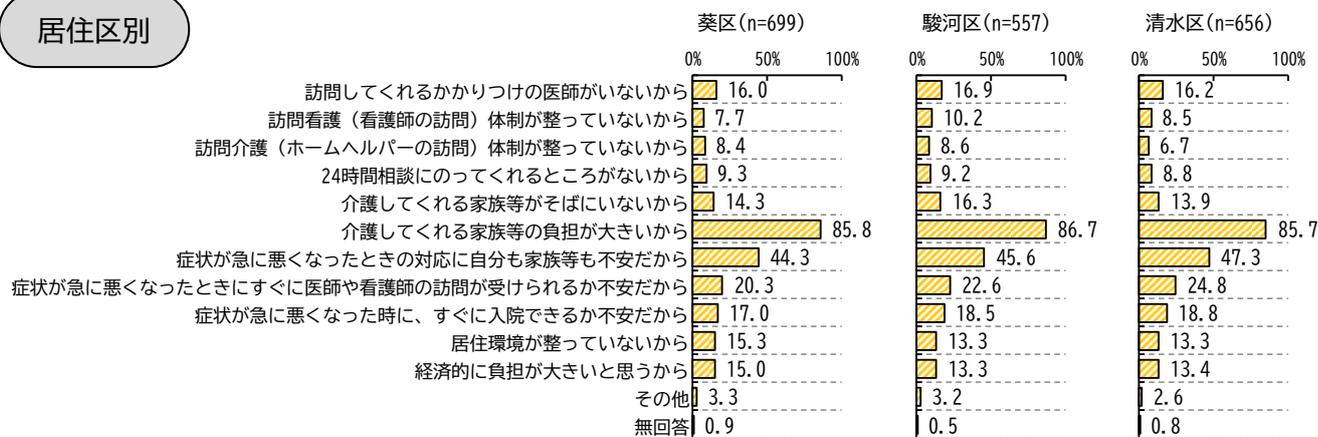
クロス集計（性別・居住区別）

<問 11-2> 【自分】 自宅以外を選んだ理由

性別



居住区別



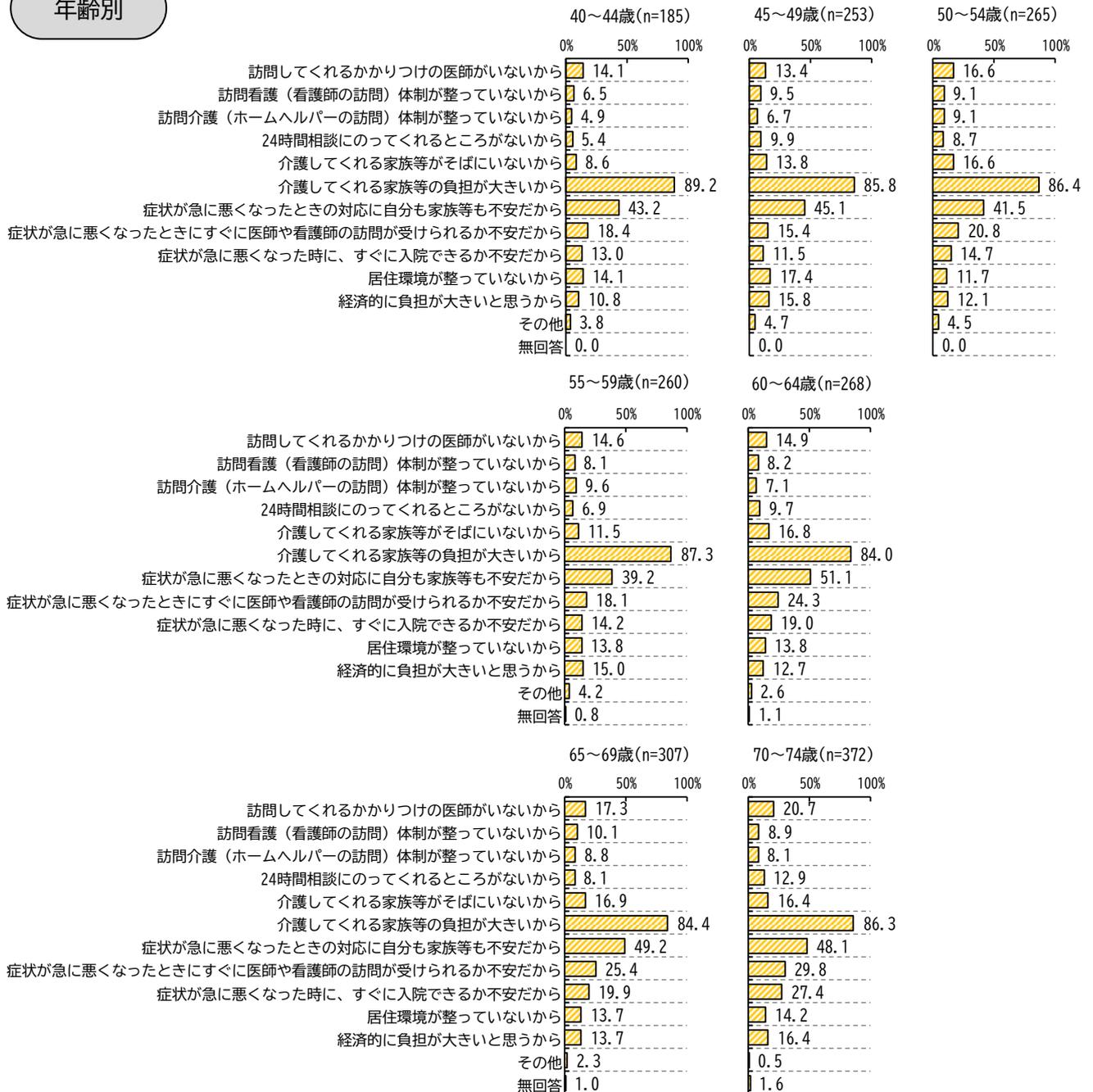
（性別）女性は、「介護してくれる家族等の負担が大きいため」と「症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族等も不安だから」などが、男性よりも多くなっています。

（居住区別）居住区による大きな差異はみられません。

（年齢別）すべての年齢で「介護してくれる家族等の負担が大きいため」が多く、40～44歳では89.2%となっています。

## クロス集計（年齢別）

### 年齢別

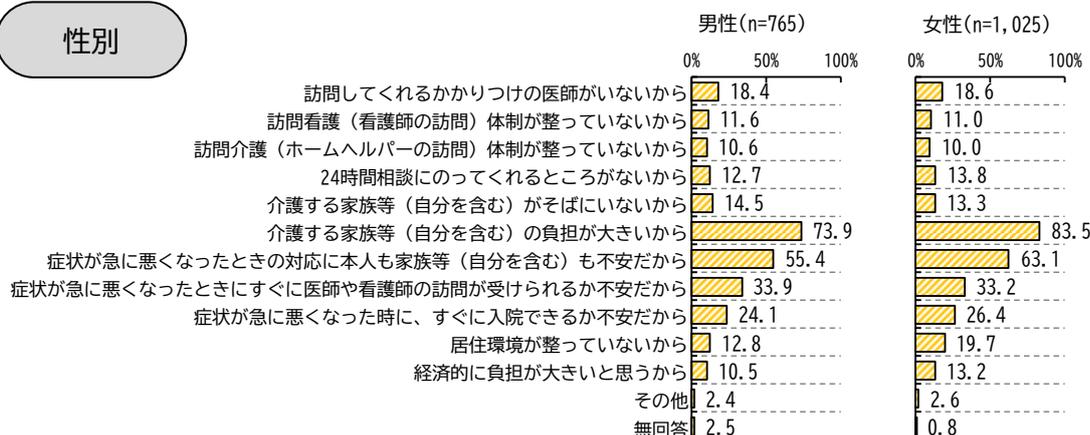


● 病状B 重度の認知症を患っている場合

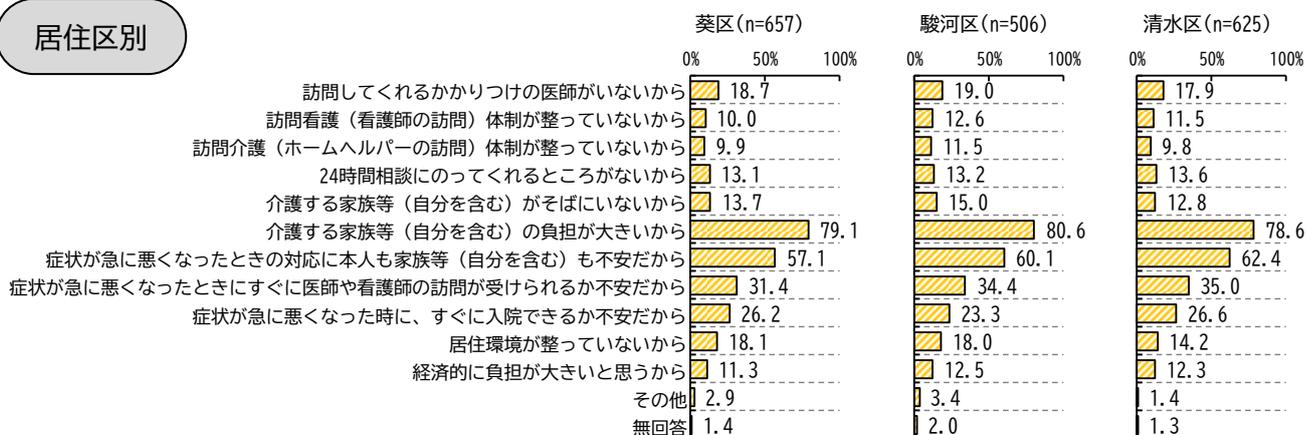
クロス集計（性別・居住区別）

<問 13-2> 【家族】 自宅以外を選んだ理由

性別



居住区別



（性別）女性は、「介護する家族等（自分を含む）の負担が大きいから」、「症状が急に悪くなったときの対応に本人も家族等（自分を含む）も不安だから」、「居住環境が整っていないから」などが、男性よりも多くなっています。

（居住区別）居住区による大きな差異はみられません。

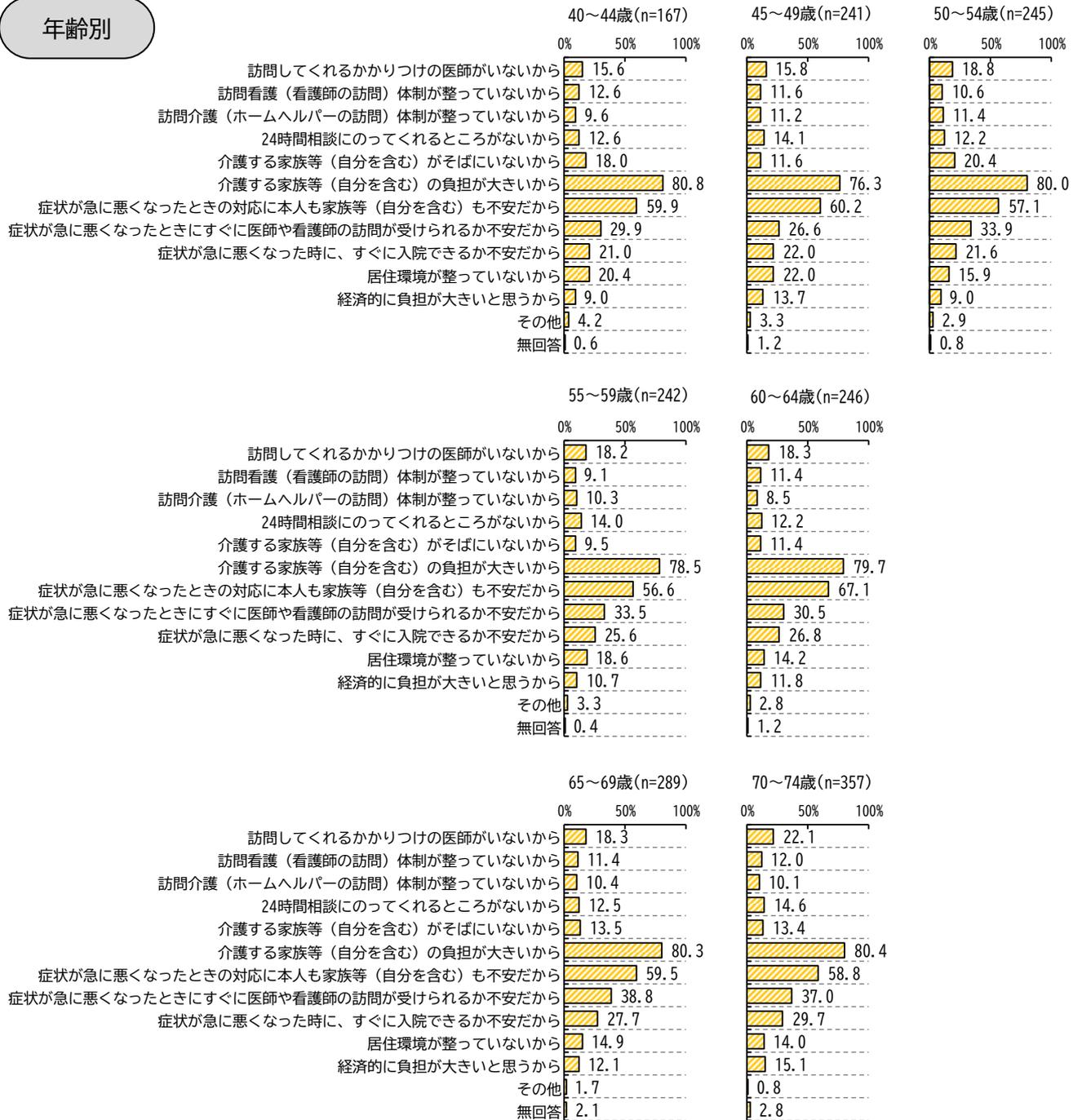
（年齢別）すべての年齢で「介護してくれる家族等（自分を含む）の負担が大きいから」が最も多くなっています。

40～49 歳は、「居住環境が整っていないから」が2割と、他の年齢よりもやや多くなっています。

60～64 歳は、「症状が急に悪くなったときの対応に本人も家族等（自分を含む）も不安だから」67.1%が、他の年齢よりもやや多くなっています。

## クロス集計（年齢別）

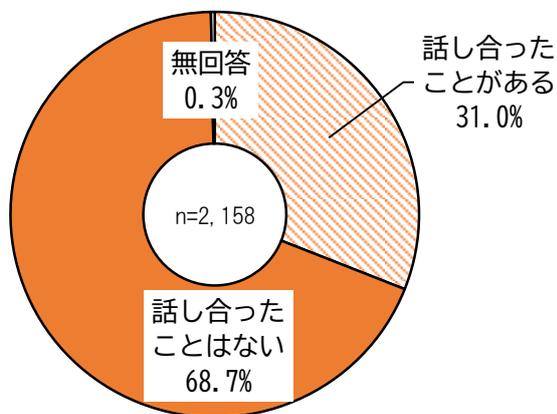
### 年齢別



### 3 人生の最終段階における医療・ケア等の話し合いについて

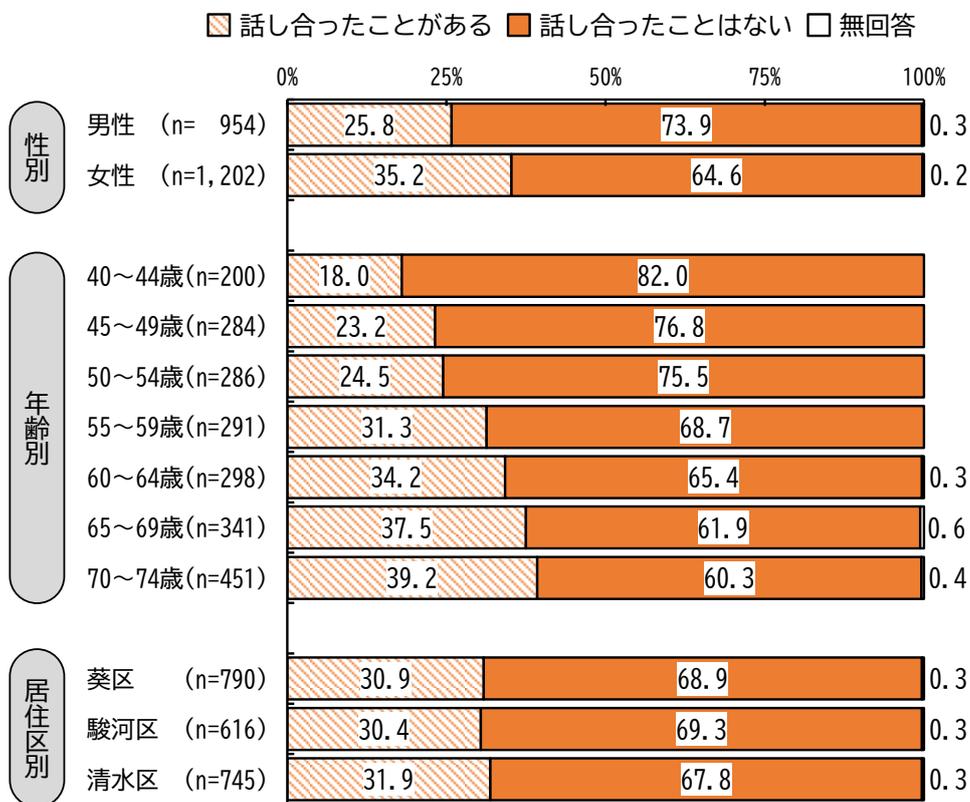
#### (11) 人生の最終段階における医療・ケアについて話し合ったことはあるか

◇あなたはご自分に万が一のことが起こった時や、人生の最終段階における医療・ケアについて、話し合ったことはありますか。(1つに○印) <問 14>



人生の最終段階における医療・ケアについて話し合ったことはあるかでは、「話し合ったことはない」が68.7%、「話し合ったことがある」が31.0%となっています。

## クロス集計（性別・年齢別・居住区別）



（性別）女性は、「話し合ったことがある」35.2%が、男性の25.8%よりも多くなっています。

（年齢別）年齢が上がるほど「話し合ったことがある」が多く、70～74歳では39.2%となっています。

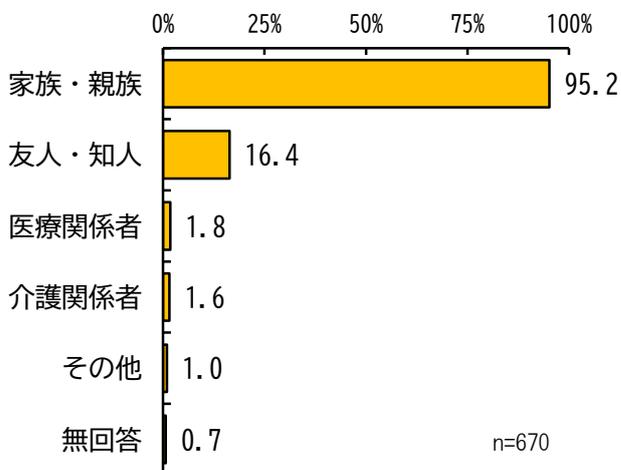
（居住区別）居住区による大きな差異はみられません。

## (12) 話し合った相手

◇どなたと話し合いましたか。(複数回答可)

<問 15>

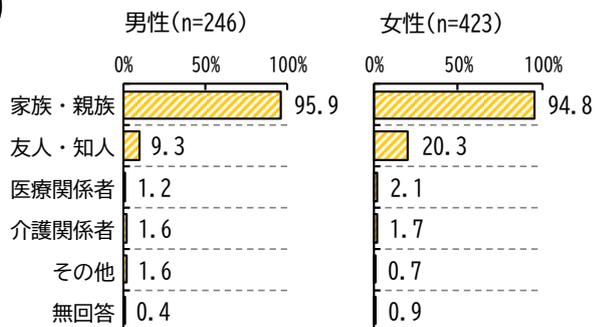
※問 14 で「話し合ったことがある」と答えた方のみ。



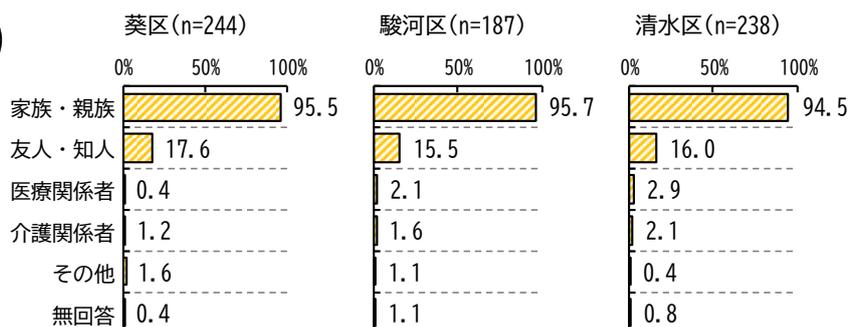
話し合った相手では、「家族・親族」95.2%が最も多く、以下「友人・知人」16.4%、「医療関係者」1.8%、「介護関係者」1.6%、「その他」1.0%となっています。

## クロス集計 (性別・居住区別)

### 性別

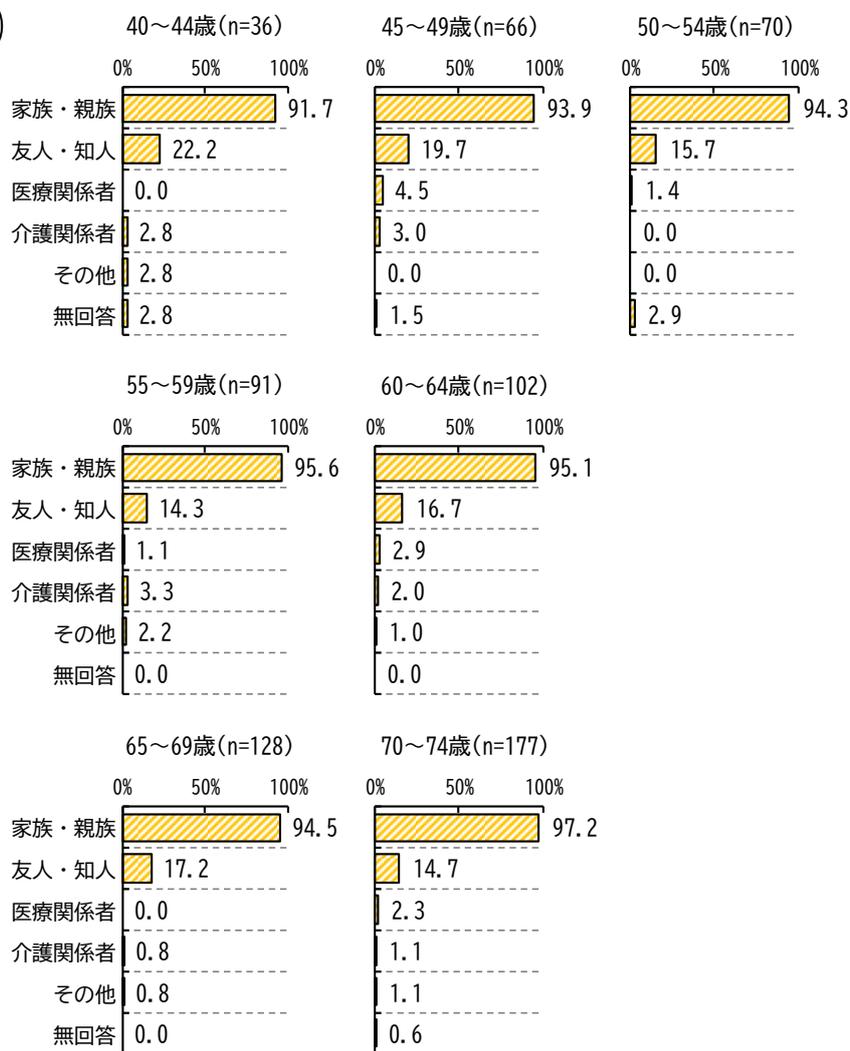


### 居住区別



## クロス集計（年齢別）

### 年齢別



（性別）女性は「友人・知人」20.3%が、男性よりも10ポイント以上高くなっています。

（居住区別）居住区による大きな差異はみられません。

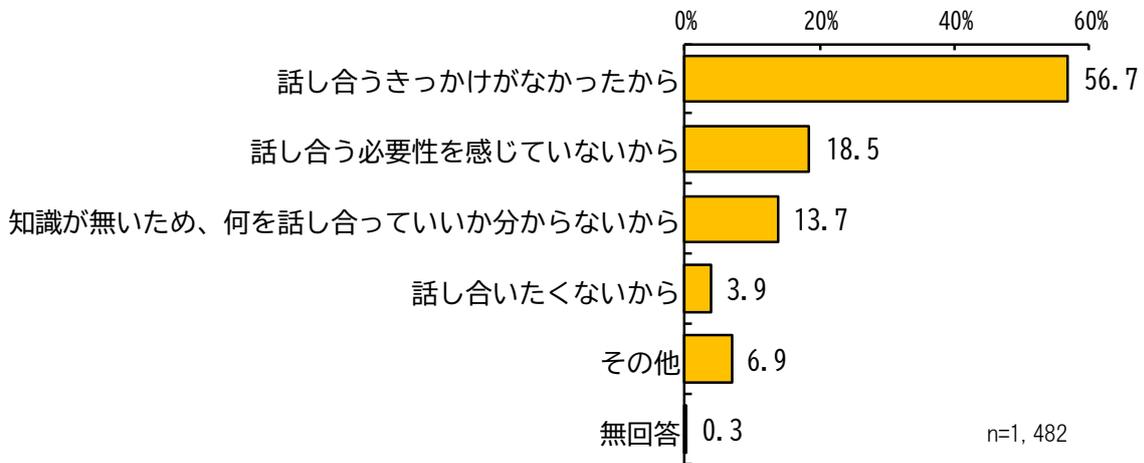
（年齢別）40～49歳は、「友人・知人」が2割と、他の年齢よりもやや多くなっています。

### (13) 話し合ったことがない理由

◇これまで話し合ったことがない理由は何ですか。(1つに○印)

<問 16>

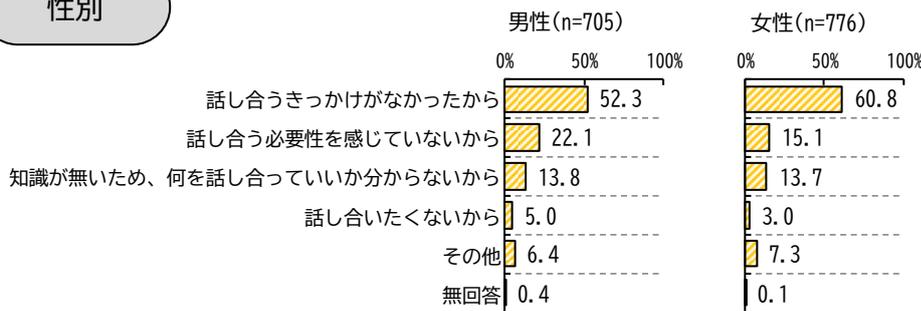
※問 14 で「話し合ったことがない」と答えた方のみ。



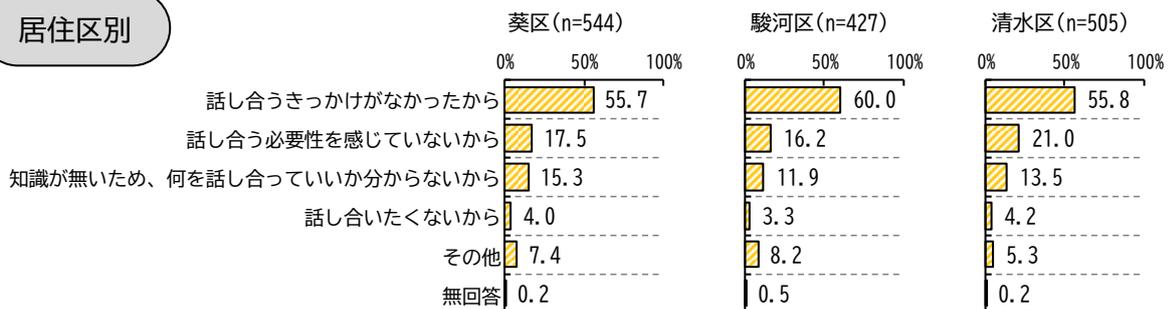
話し合ったことがない理由では、「話し合うきっかけがなかったから」56.7%が最も多く、以下「話し合う必要性を感じていないから」18.5%、「知識が無いため、何を話し合っているかわからないから」13.7%、「その他」6.9%、「話し合いたくないから」3.9%となっています。

### クロス集計 (性別・居住区別)

#### 性別

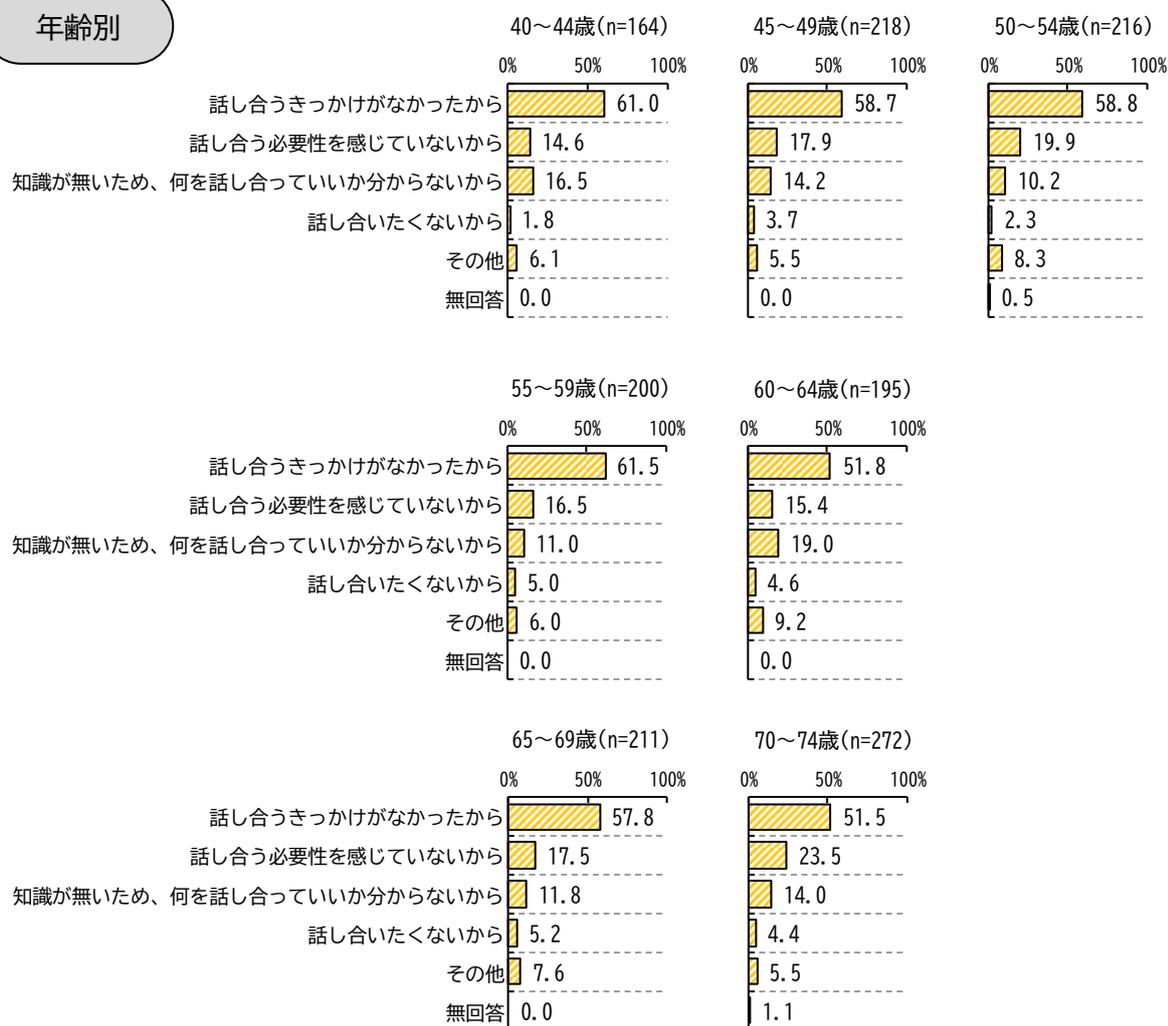


#### 居住区別



## クロス集計（年齢別）

### 年齢別



（性別）男性は、「話し合う必要性を感じていないから」22.1%が、女性の15.1%よりもやや多くなっています。

女性は、「話し合うきっかけがなかったから」60.8%が、男性の52.3%よりもやや多くなっています。

（居住区別）居住区による大きな差異はみられません。

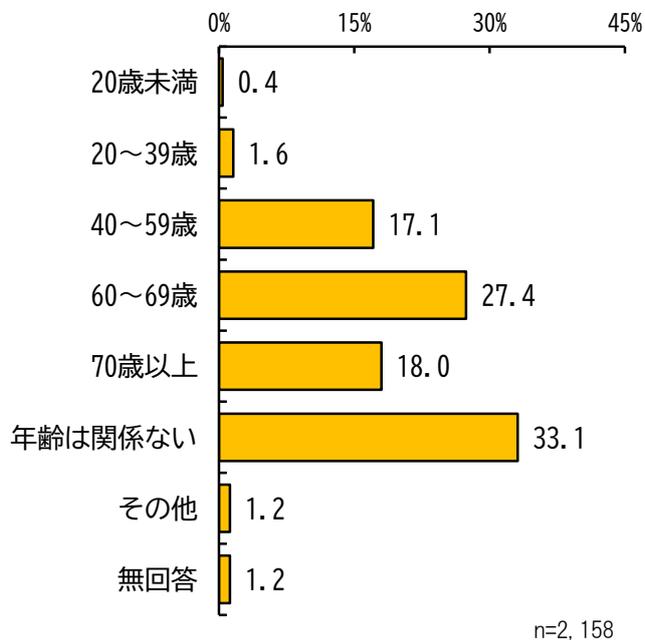
（年齢別）すべての年齢で「話し合うきっかけがなかったから」が最も多く、40~59歳では約6割となっています。

60~64歳は「知識が無いため、何を話し合っていないか分からないから」19.0%が、他の年齢よりもやや多くなっています。

70~74歳は「話し合う必要性を感じていないから」23.5%が、他の年齢よりもやや多くなっています。

## (14) 家族等や医療介護関係者等と医療・ケアについて話し合う良い時期

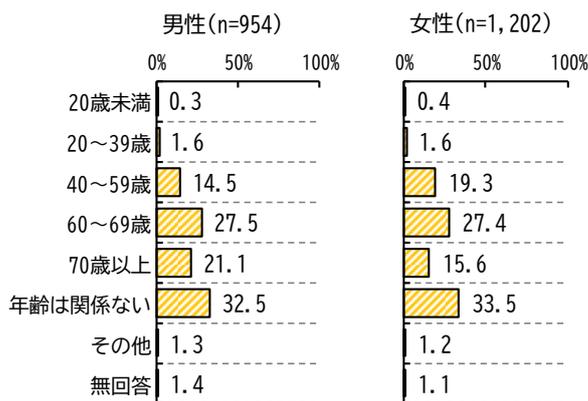
◇もし、ご家族等や医療介護関係者等の方と医療・ケアについて話し合う時期があるとすると、いつ頃が良い年齢だと思いますか。話し合ったことがある方は実際に話し合った年齢ではなく、望ましいと思う年齢を選んでください。(1つに○印) <問17>



家族等や医療介護関係者等と医療・ケアについて話し合う良い時期では、「年齢は関係ない」33.1%が最も多く、以下「60~69歳」27.4%、「70歳以上」18.0%、「40~59歳」17.1%、「20~39歳」1.6%となっています。

### クロス集計 (性別)

性別



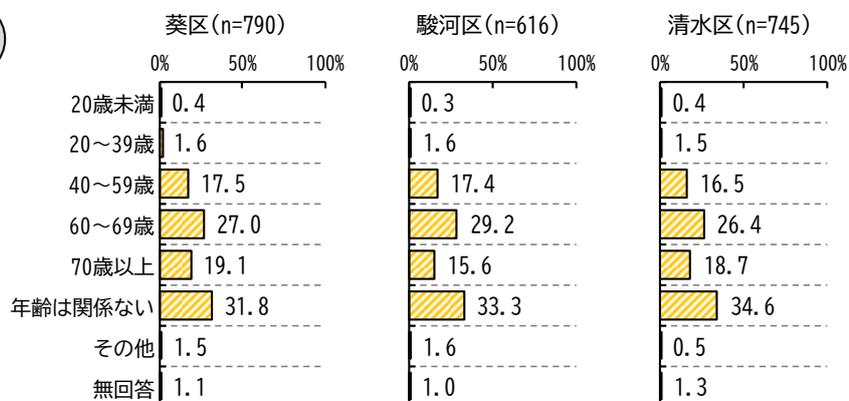
(性別) 性別による大きな差異はみられません。

(居住区別) 居住区による大きな差異はみられません。

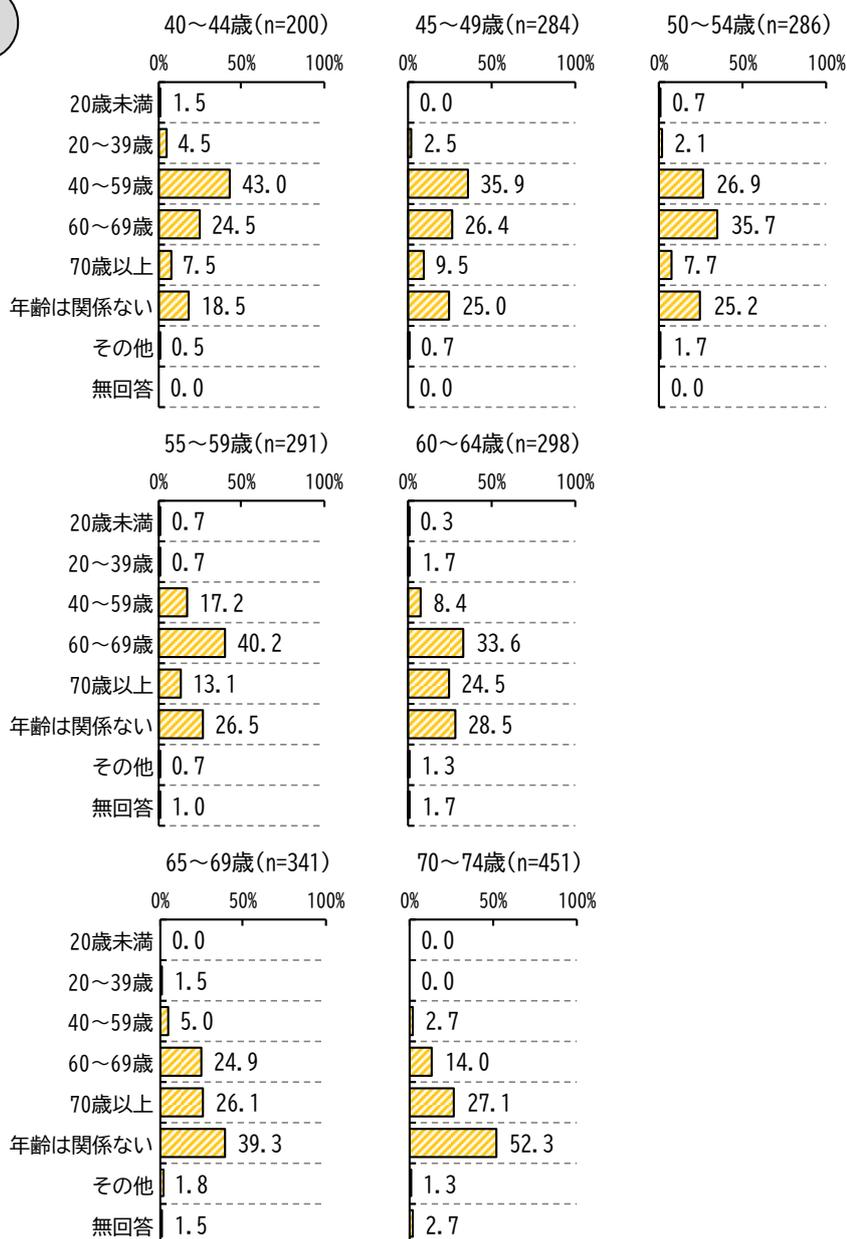
(年齢別) 40~49歳は「40~59歳」が最も多くなっています。50~64歳は「60~69歳」が最も多くなっています。65~74歳は「年齢は関係ない」が最も多くなっています。

## クロス集計 (居住区別・年齢別)

### 居住区別

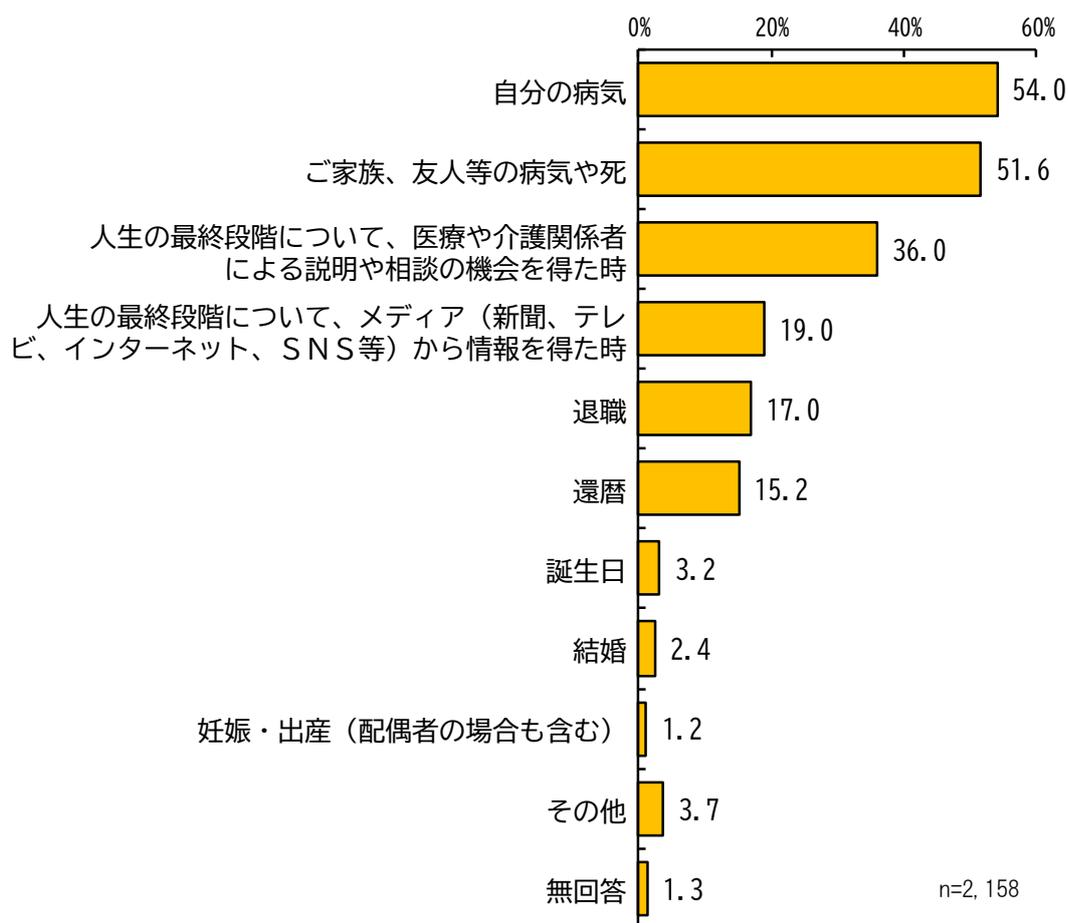


### 年齢別



### (15) 家族等や医療介護関係者等と医療・ケアについて話し合う良いきっかけ

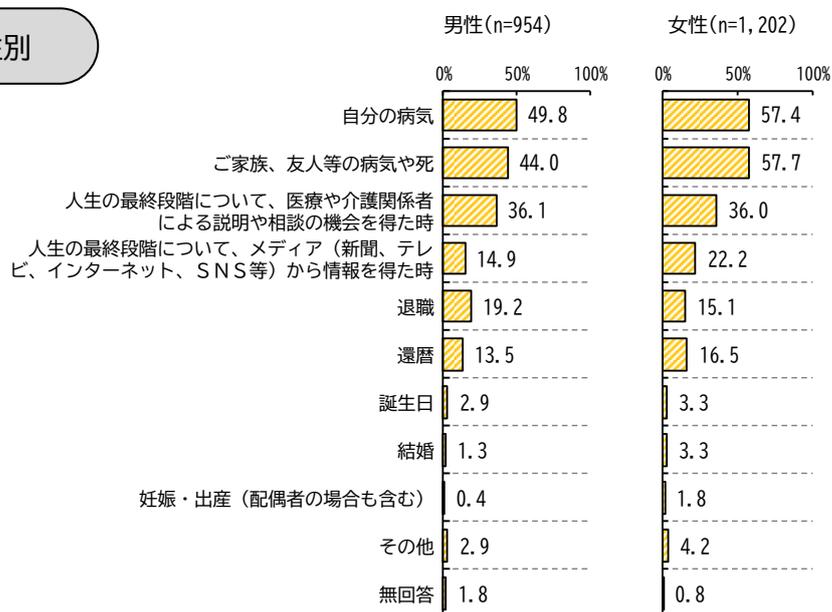
◇もし、ご家族等や医療介護関係者の方と医療・ケアについて話し合うきっかけがあるとすると、どのようなきっかけで話し合うのが良いと思いますか。話し合ったことがある方は、実際のきっかけではなく、望ましいと思うきっかけを選んでください。(複数回答可) <問 18>



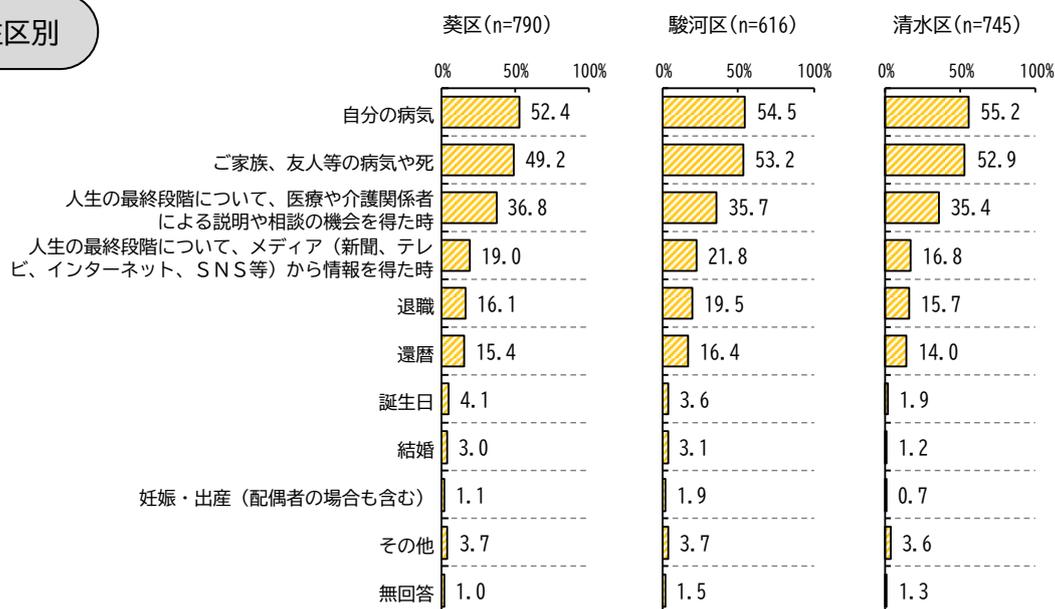
家族等や医療介護関係者等と医療・ケアについて話し合う良いきっかけでは、「自分の病気」54.0%が最も多く、以下「ご家族、友人等の病気や死」51.6%、「人生の最終段階について、医療や介護関係者による説明や相談の機会を得た時」36.0%、「人生の最終段階について、メディア（新聞、テレビ、インターネット、SNS等）から情報を得た時」19.0%、「退職」17.0%となっています。

## クロス集計（性別・居住区別）

### 性別



### 居住区別



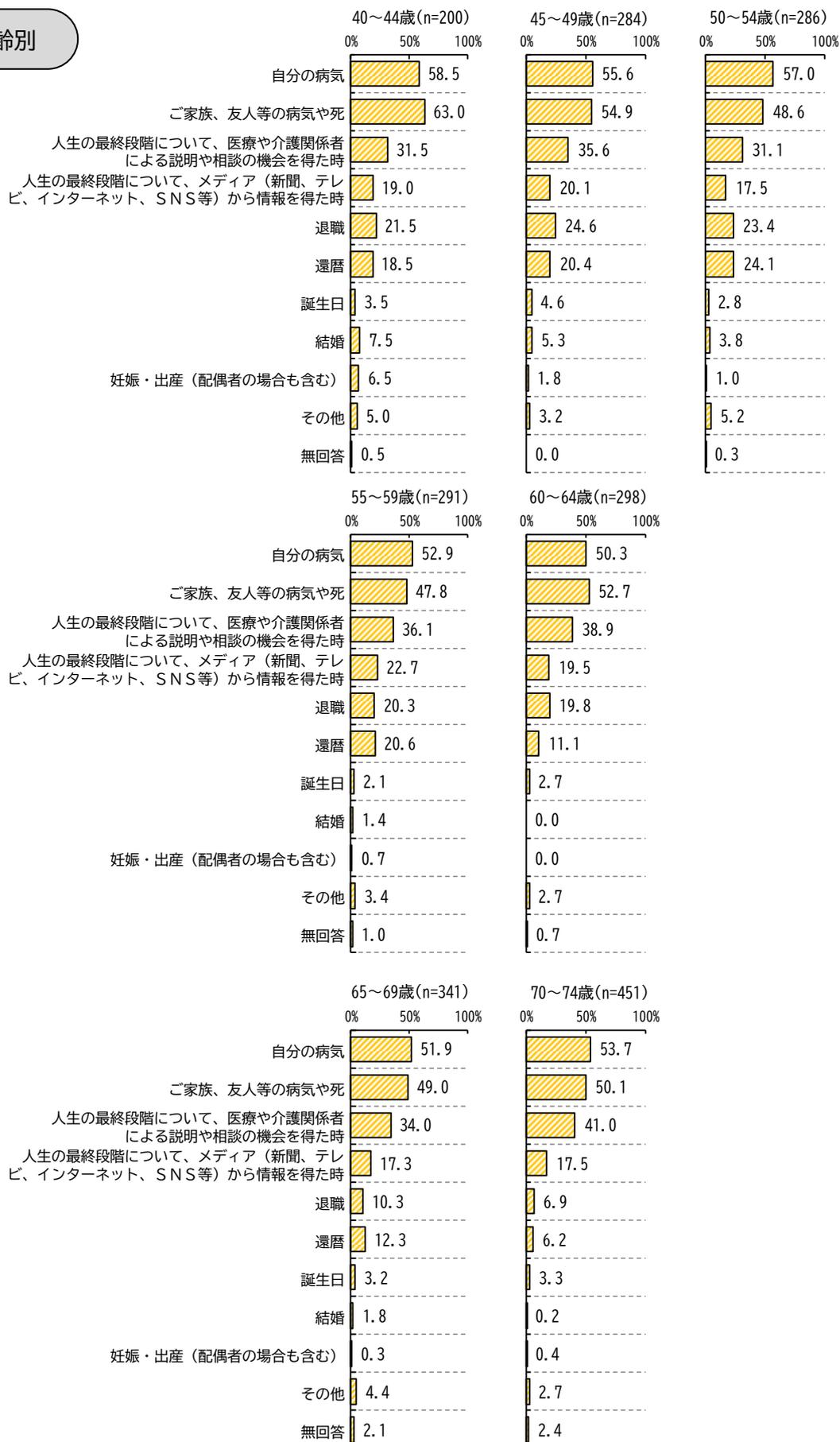
（性別）女性は、「自分の病気」と「ご家族、友人等の病気や死」が多く、5割半ばとなっています。

（居住区別）居住区による大きな差異はみられません。

（年齢別）40～44歳は「ご家族、友人等の病気や死」63.0%が、他の年齢よりもやや多くなっています。

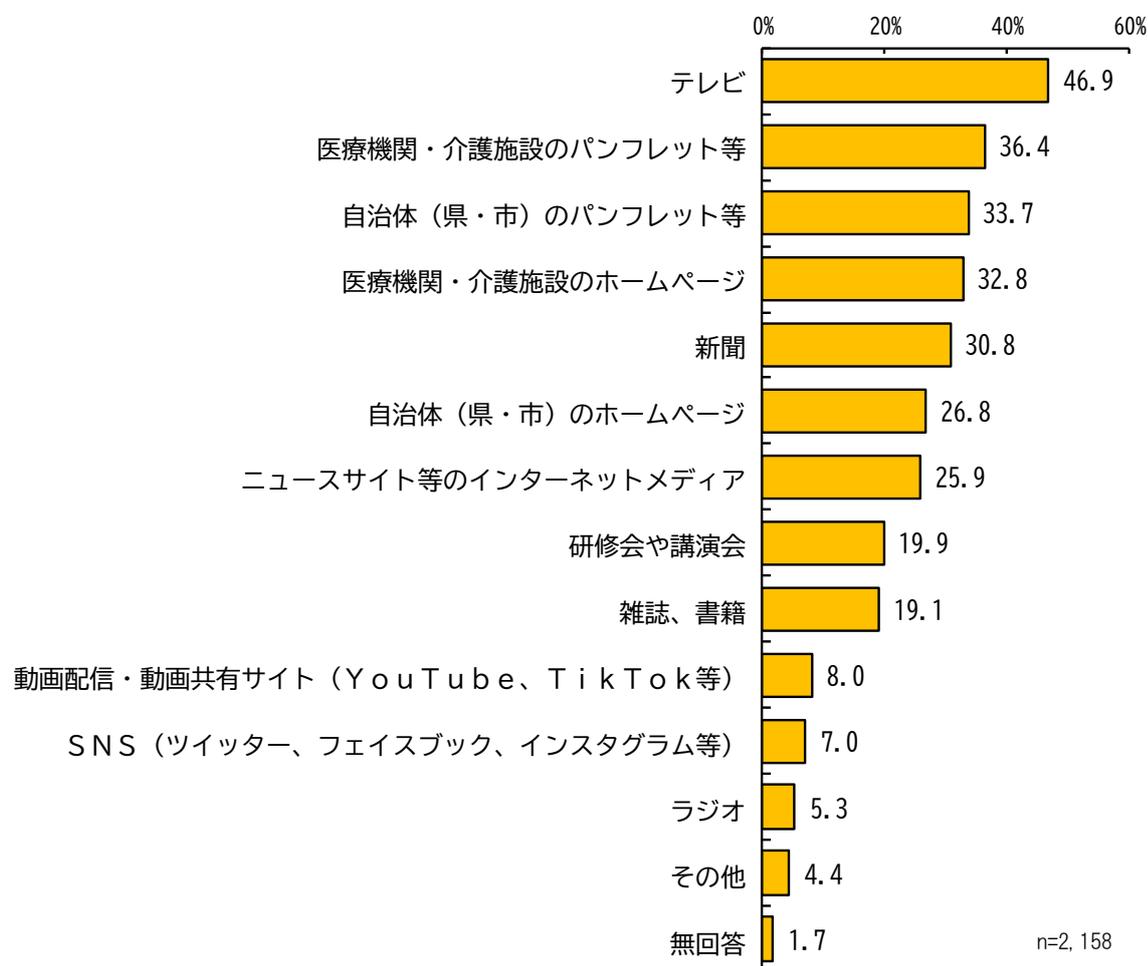
## クロス集計（年齢別）

年齢別



## (16) 人生の最終段階における医療・ケアについて得たい情報源

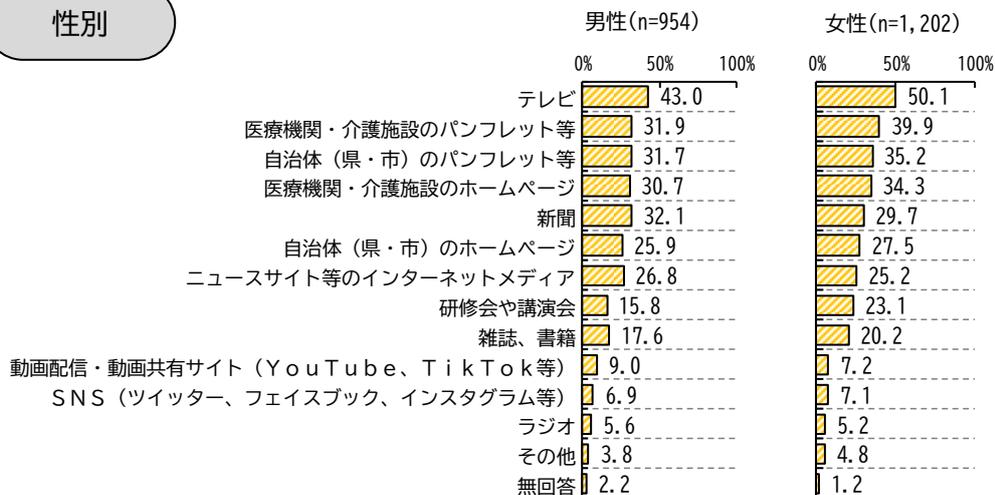
◇あなたは人生の最終段階における医療・ケアについて、どのような情報源から情報を得たいと思いますか。(複数回答可) <問 19>



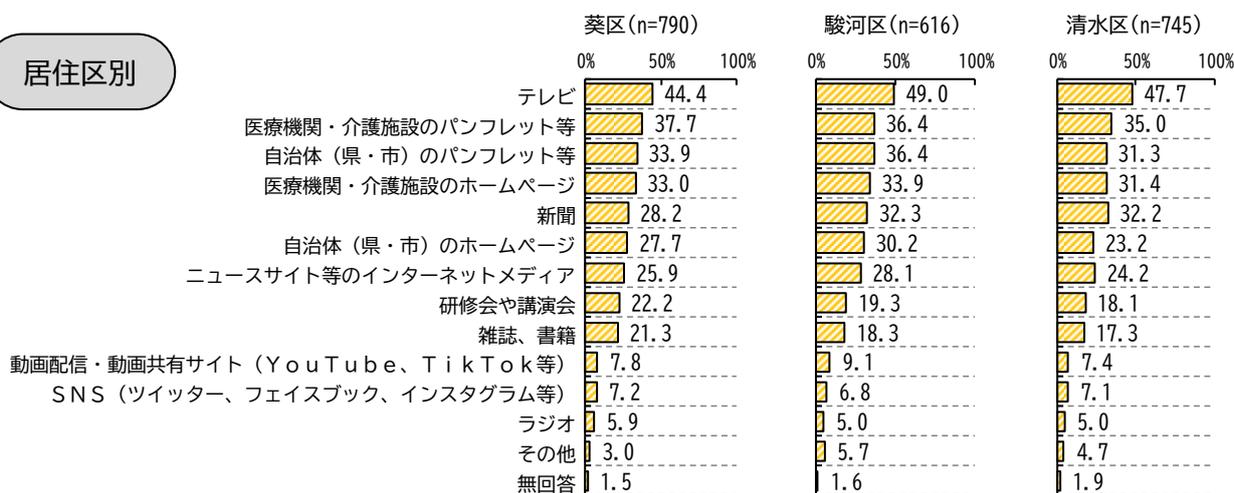
人生の最終段階における医療・ケアについて得たい情報源では、「テレビ」46.9%が最も多く、以下「医療機関・介護施設のパフレット等」36.4%、「自治体(県・市)のパフレット等」33.7%、「医療機関・介護施設のホームページ」32.8%、「新聞」30.8%となっています。

## クロス集計（性別・居住区別）

### 性別



### 居住区別



（性別）女性は、「テレビ」、「医療機関・介護施設のパンフレット等」、「研修会や講演会」などが、男性よりも多くなっています。

（居住区別）居住区による大きな差異はみられません。

（年齢別）すべての年齢で「テレビ」が最も多くなっています。

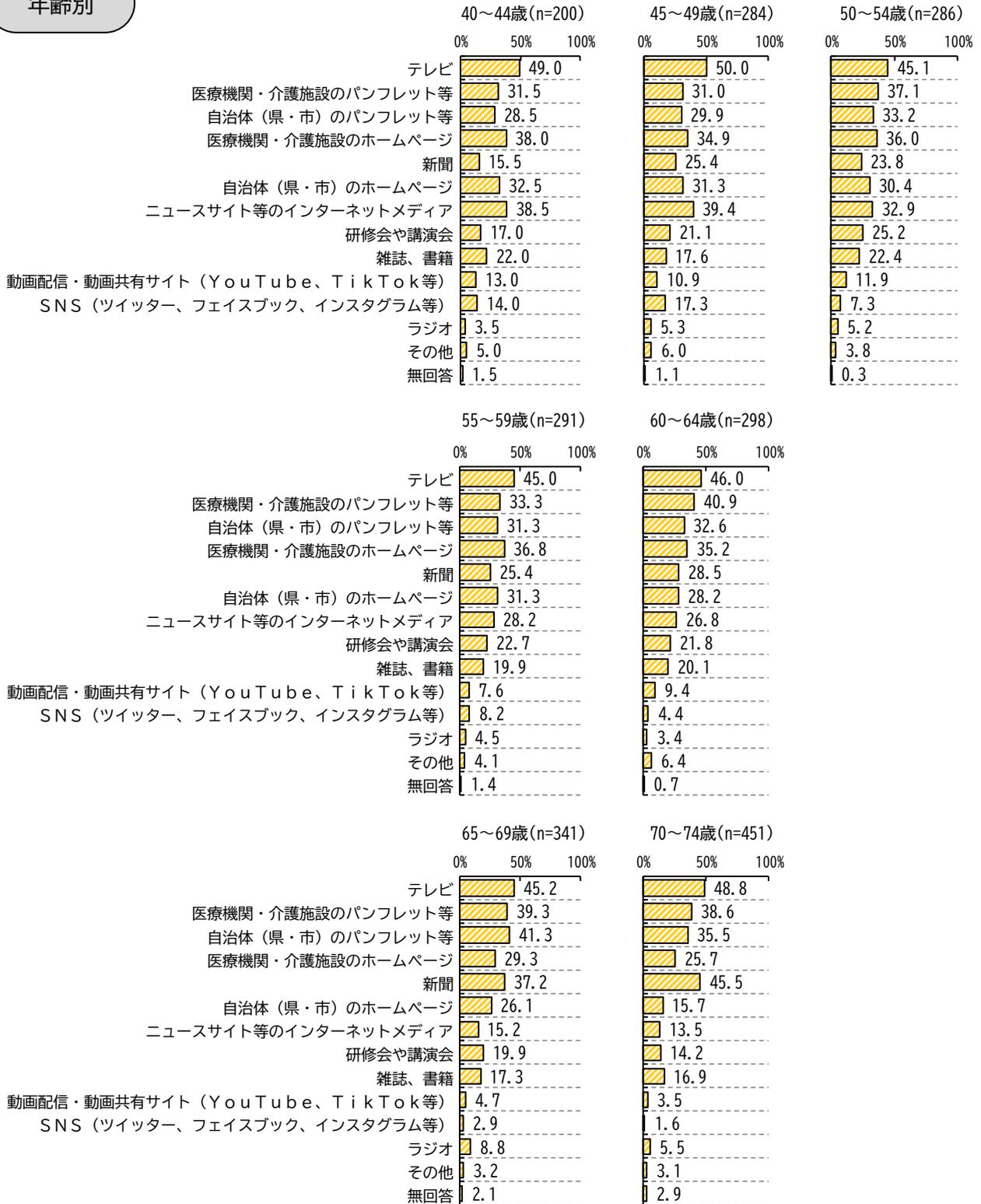
40～64歳は「医療機関・介護施設のホームページ」が、60～74歳は「医療機関・介護施設のパンフレット等」が多くなっています。

年齢が下がるほど「ニュースサイト等のインターネットメディア」が多く、40～49歳では約4割となっています。

65～69歳は、「自治体（県・市）のパンフレット等」41.3%が、70～74歳は「新聞」45.5%が、他の年齢よりも多くなっています。

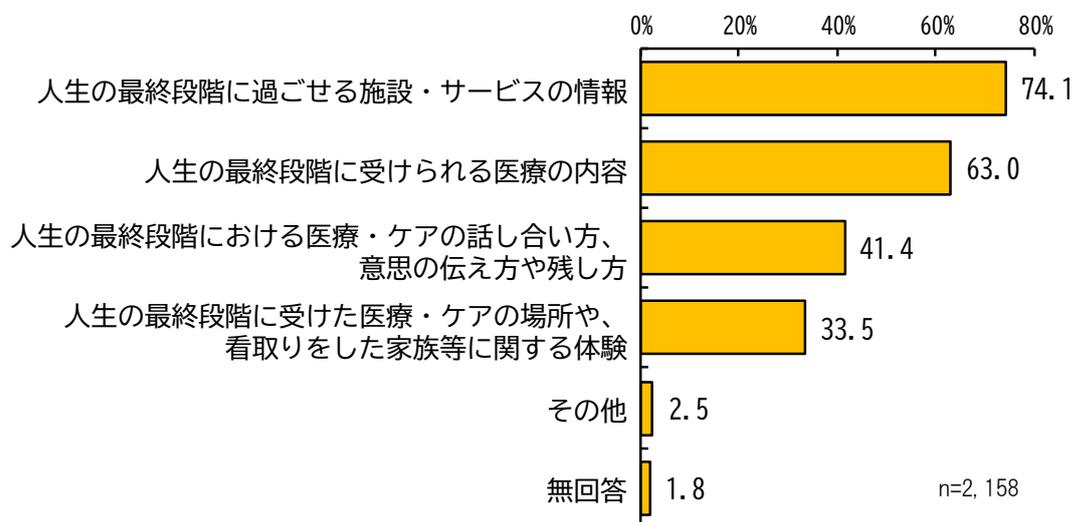
# クロス集計（年齢別）

## 年齢別



### (17) 人生の最終段階における医療・ケアについて考えるために得たい情報

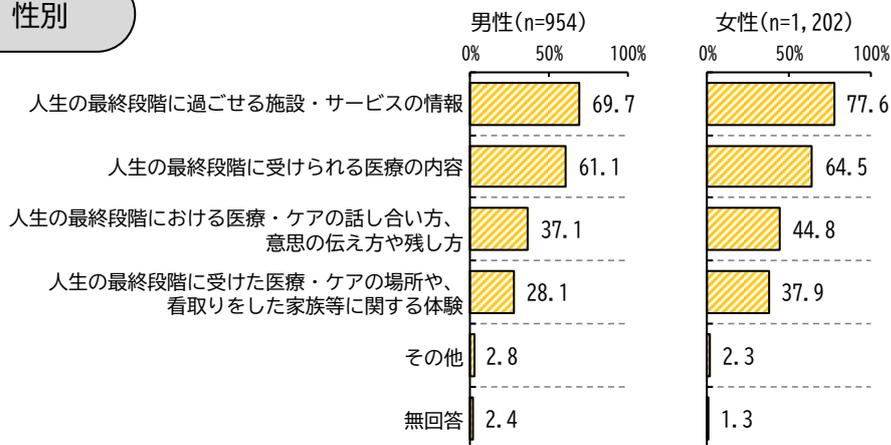
◇あなたは人生の最終段階における医療・ケアについて考えるために、どのような情報を得たいと思いますか。（複数回答可） <問 20>



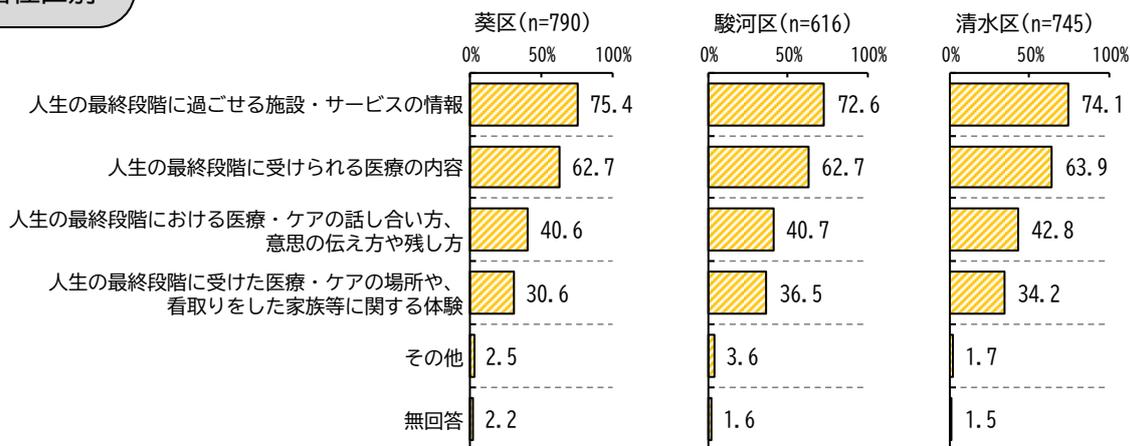
人生の最終段階における医療・ケアについて考えるために得たい情報では、「人生の最終段階に過ごせる施設・サービスの情報」74.1%が最も多く、以下「人生の最終段階に受けられる医療の内容」63.0%、「人生の最終段階における医療・ケアの話し合い方、意思の伝え方や残し方」41.4%、「人生の最終段階に受けた医療・ケアの場所や、看取りをした家族等に関する体験」33.5%、「その他」2.5%となっています。

## クロス集計（性別・居住区別）

### 性別



### 居住区別



（性別）女性は、「その他」を除いたすべての項目で男性よりも多くなっています。

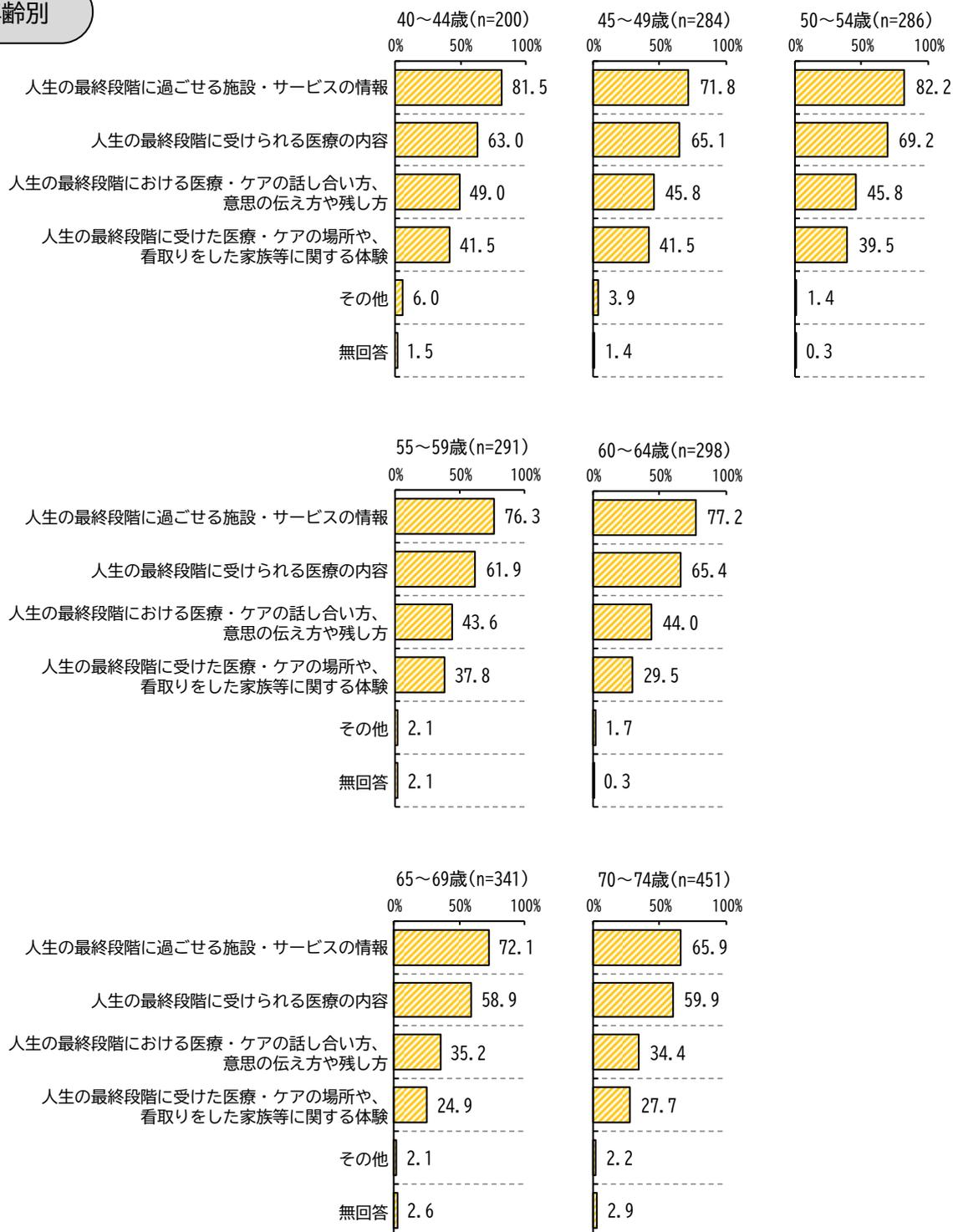
（居住区別）居住区による大きな差異はみられません。

（年齢別）すべての年齢で「人生の最終段階に過ごせる施設・サービスの情報」が最も多くなっています。

年齢が下がるほど「人生の最終段階における医療・ケアの話し合い方、意思の伝え方や残し方」や「人生の最終段階に受けた医療・ケアの場所や、看取りをした家族等に関する体験」が多くなっています。

## クロス集計（年齢別）

### 年齢別

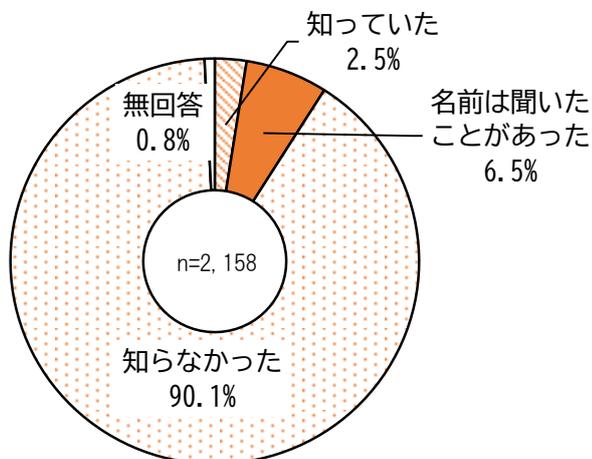


## (18) 人生会議の認知状況

◇人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）について、知っていましたか。

（1つに○印）

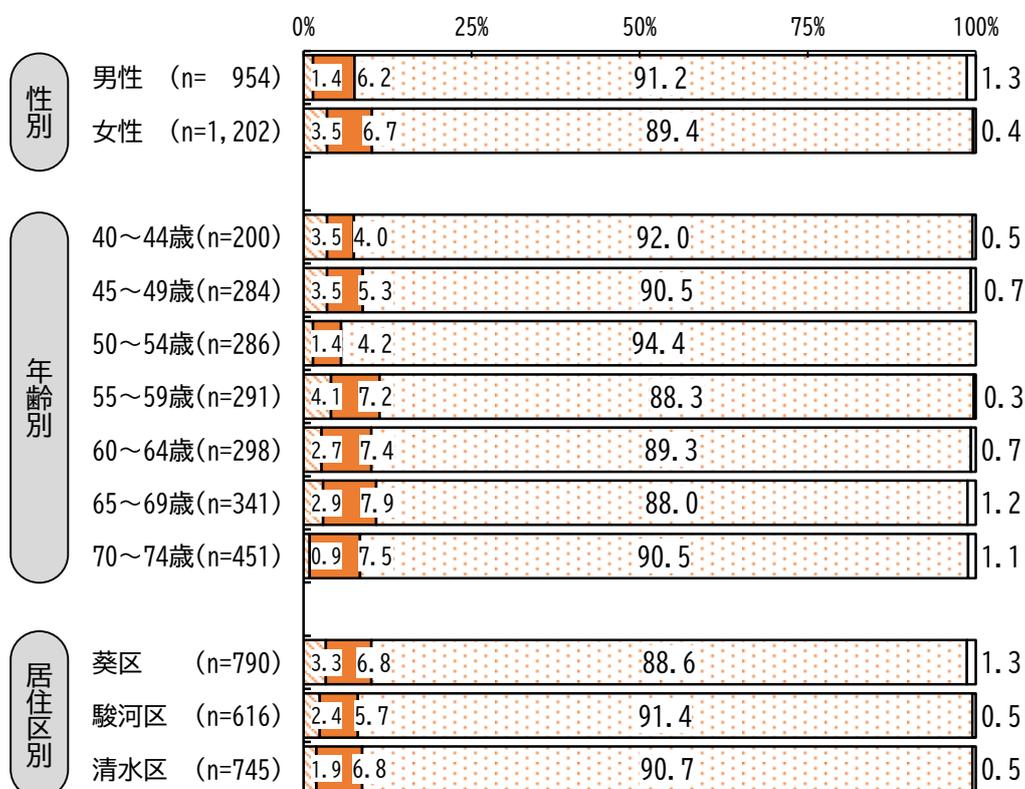
<問 21>



人生会議の認知状況では、「知らなかった」90.1%が最も多く、以下「名前を聞いたことがあった」6.5%、「知っていた」2.5%となっています。

### クロス集計（性別・年齢別・居住区別）

■ 知っていた ■ 名前を聞いたことがあった □ 知らなかった □ 無回答



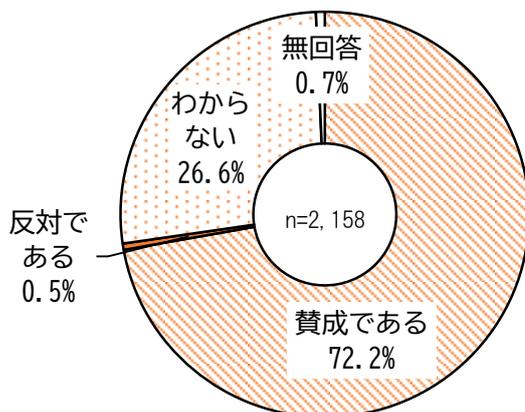
（性別）性別による大きな差異はみられません。

（年齢別）年齢による大きな差異はみられません。

（居住区別）居住区による大きな差異はみられません。

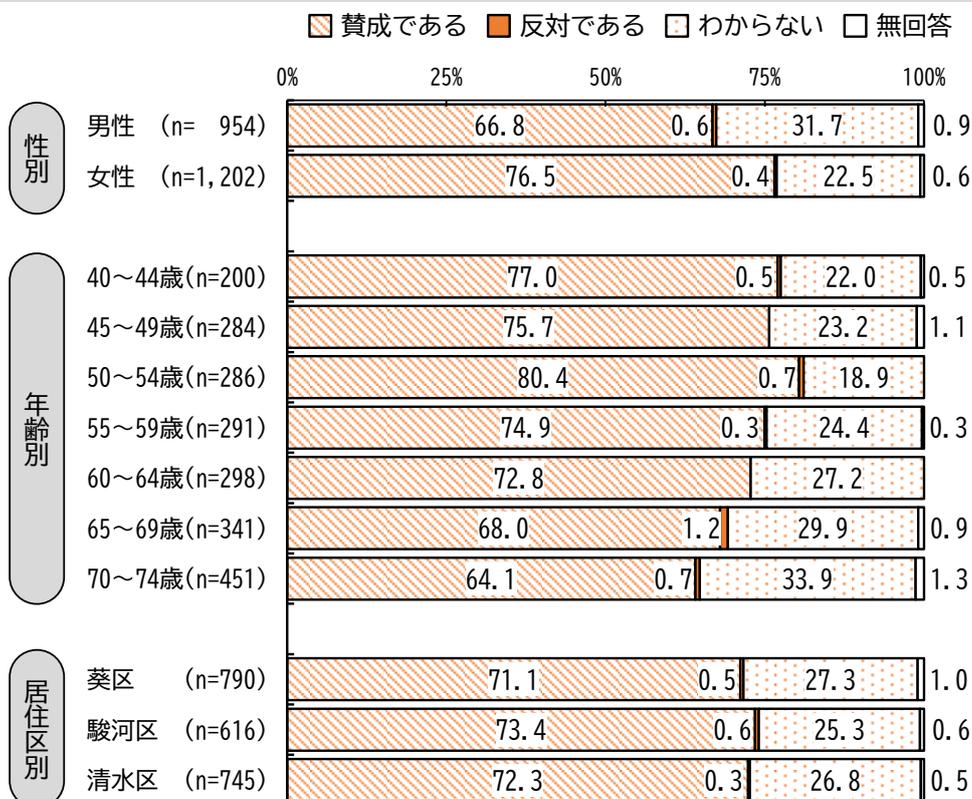
(19) 自らが望む人生の最終段階における医療・ケアについて、あらかじめ話し合いを進めることをどう思うか

◇あなたは人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）のように、自らが望む人生の最終段階における医療・ケアについて、ご家族や医療関係者等とあらかじめ話し合いを進めることを、あなたはどのように思いますか。（1つに○印） <問 22>



自らが望む人生の最終段階における医療・ケアについて、あらかじめ話し合いを進めることをどう思うかでは、「賛成である」72.2%が最も多く、以下「わからない」26.6%、「反対である」0.5%となっています。

クロス集計（性別・年齢別・居住区別）



(性別) 女性は「賛成である」76.5%が、男性の66.8%よりも多くなっています。  
 (年齢別) 50～59歳は「賛成である」80.4%が、他の年齢よりも多くなっています。  
 (居住区別) 居住区による大きな差異はみられません。

## Ⅲ 調査票



皆 様 へ

令和4年1月  
静 岡 市

## 人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）に関する 市民意識調査 ご協力をお願い

静岡市では、在宅医療・介護連携推進事業の実施における資料として活用するため、皆様の人生会議（ACP）の意識に関するご意見を伺うアンケートを実施いたします。人生会議（ACP）とは、もしもの時に備えて、自らが望む医療やケアについて、前もって考え、繰り返し話し合っ、共有する取り組みです。

調査の主旨にご理解をいただき、アンケートへのご協力をお願いいたします。

なお、この調査は、40歳から74歳までの要支援・要介護の認定を受けていない市民の皆様から無作為に5,000人を選ばせていただきました。

皆様からのご回答は、在宅医療・介護連携推進事業の目的や統計的に処理するためだけに利用し、個人のお名前が出ることは一切ありません。

### ◆回答にあたってのお願い◆

- 1 設問をお読みいただき、あてはまる番号に○をつけてください。  
設問によって、○をつける数が異なります。また、文字をご記入いただく場合もありますので、ご注意ください。
- 2 この調査は、**令和4年1月1日現在**でお答えください。
- 3 ご回答いただきましたアンケートは、**2月14日(月)**までに同封の返信用封筒に入れ、ご投函くださるようお願いいたします。(切手は不要です)
- 4 この調査に関するご質問やお問合せは、下記にお願いします。

担 当)	静岡市役所 保健福祉長寿局 地域包括ケア推進本部 在宅医療・介護連携推進係
電 話)	054-221-1576

ご本人でのご記入が難しい場合は、ご家族等に手伝ってもらってご記入ください。

ご本人が記入できない場合は、ご家族等が本人の立場に立ってご記入ください。



**2 ここから先の質問では、あなたご自身やあなたのご家族が、回復の難しい状態になった場合のご希望を伺います。2つの異なる状態を示すので、それぞれについてお答えください。**

**病状A**

～病状～

**末期がん**と診断され、状態は悪化し、今は食事がとりにくく、呼吸が苦しいといった状態です。しかし、痛みはなく、意識や判断力は健康な時と同様に保たれています。

～医療上の判断～

「回復の見込みはなく、およそ1年以内に、徐々にあるいは急に死に至る」とのことです。

**問10 もしあなたが、末期がんで、上記の「病状A」のような病状になった場合、どこで最期を迎えることを希望しますか。お考えに近いものを選んでください。（1つに○印）**

**1 自宅** ➡ **問10-1へ**

**2 病院などの医療施設**

**3 グループホーム（※1）**

**4 サービス付き高齢者向け住宅**

**5 老人ホーム（※2）**

**6 その他（**

**）**

**問10-2へ**

※1 認知症の高齢者に特化した小規模の介護施設

※2 養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホーム

**問10-1 問10で、「1 自宅」を選択された方に伺います。**

**なぜ自宅を選択されたのか、お考えに近いものを選んでください。（複数回答可）**

**1 訪問してくれるかかりつけの医師がいるから**

**2 訪問看護（看護師の訪問）体制が整っているから**

**3 訪問介護（ホームヘルパーの訪問）体制が整っているから**

**4 住み慣れた場所で最期を迎えたいから**

**5 最後まで自分らしく、好きなように過ごしたいから**

**6 家族等との時間を多くしたいから**

**7 家族等に看取られて最期を迎えたいから**

**8 他の家族等が自宅で最期を迎えていたから**

**9 症状が急に悪くなった時に、すぐに医師や看護師が訪問してくれるから**

**10 症状が急に悪くなった時に、すぐに入院できる体制が整っているから**

**11 経済的に負担が大きいと思うから**

**12 その他（**

**）**

問 10-2 問 10 で、「2～6 自宅以外」を選択された方に伺います。

なぜ自宅以外を選択されたのか、お考えに近いものを選んでください。(複数回答可)

- 1 訪問してくれるかかりつけの医師がないから
- 2 訪問看護(看護師の訪問)体制が整っていないから
- 3 訪問介護(ホームヘルパーの訪問)体制が整っていないから
- 4 24時間相談にのってくれるところがないから
- 5 介護してくれる家族等がそばにいないから
- 6 介護してくれる家族等の負担が大きいから
- 7 症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族等も不安だから
- 8 症状が急に悪くなったときにすぐに医師や看護師の訪問が受けられるか不安だから
- 9 症状が急に悪くなった時に、すぐに入院できるか不安だから
- 10 居住環境が整っていないから
- 11 経済的に負担が大きいと思うから
- 12 その他( )

**病状B**

～病状～

**認知症**が進行し、自分の居場所や家族の顔が分からず、食事や着替え、トイレなどの身の回りのことに手助けが必要な状態で、かなり衰弱が進んできました。

～医療上の判断～

「回復の見込みはなく、およそ1年以内に、徐々にあるいは急に死に至る」とのことです。

問11 もしあなたが、**認知症**で、上記の「病状B」のような病状になった場合、どこで最期を迎えることを希望しますか。お考えに近いものを選んでください。(1つに○印)

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 1 自宅 ➡ 問 11-1 へ |               |
| 2 病院などの医療施設     | 3 グループホーム(※1) |
| 4 サービス付き高齢者向け住宅 | 5 老人ホーム(※2)   |
| 6 その他( )        |               |
- ➡ 問 11-2 へ

※1 認知症の高齢者に特化した小規模の介護施設

※2 養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホーム

問 11-1 問 11 で、「1 自宅」を選択された方に伺います。

なぜ自宅を選択されたのか、お考えに近いものを選んでください。(複数回答可)

- 1 訪問してくれるかかりつけの医師がいるから
- 2 訪問看護（看護師の訪問）体制が整っているから
- 3 訪問介護（ホームヘルパーの訪問）体制が整っているから
- 4 住み慣れた場所で最期を迎えたいから
- 5 最後まで自分らしく、好きなように過ごしたいから
- 6 家族等との時間を多くしたいから
- 7 家族等に看取られて最期を迎えたいから
- 8 他の家族等が自宅で最期を迎えていたから
- 9 症状が急に悪くなった時に、すぐに医師や看護師が訪問してくれるから
- 10 症状が急に悪くなった時に、すぐに入院できる体制が整っているから
- 11 経済的に負担が大きいと思うから
- 12 その他（ )

問 11-2 問 11 で、「2～6 自宅以外」を選択された方に伺います。

なぜ自宅以外を選択されたのか、お考えに近いものを選んでください。(複数回答可)

- 1 訪問してくれるかかりつけの医師がないから
- 2 訪問看護（看護師の訪問）体制が整っていないから
- 3 訪問介護（ホームヘルパーの訪問）体制が整っていないから
- 4 24 時間相談にのってくれるところがないから
- 5 介護してくれる家族等がそばにいないから
- 6 介護してくれる家族等の負担が大きいから
- 7 症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族等も不安だから
- 8 症状が急に悪くなったときにすぐに医師や看護師の訪問が受けられるか不安だから
- 9 症状が急に悪くなった時に、すぐに入院できるか不安だから
- 10 居住環境が整っていないから
- 11 経済的に負担が大きいと思うから
- 12 その他

**病状A**

～病状～

**末期がん**と診断され、状態は悪化し、今は食事がとりにくく、呼吸が苦しいといった状態です。しかし、痛みはなく、意識や判断力は健康な時と同様に保たれています。

～医療上の判断～

「回復の見込みはなく、およそ1年以内に、徐々にあるいは急に死に至る」とのことです。

**問12** もしあなたのご家族が、**末期がん**で、上記の「病状A」のような病状になった場合、どこで最期を迎えることを希望しますか。お考えに近いものを選んでください。（1つに○印）

1 自宅 ➡ 問12-1へ

2 病院などの医療施設

3 グループホーム（※1）

4 サービス付き高齢者向け住宅

5 老人ホーム（※2）

6 その他（



※1 認知症の高齢者に特化した小規模の介護施設

※2 養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホーム

**問12-1** 問12で、「1 自宅」を選択された方に伺います。

なぜ自宅を選択されたのか、お考えに近いものを選んでください。（複数回答可）

1 訪問してくれるかかりつけの医師がいるから

2 訪問看護（看護師の訪問）体制が整っているから

3 訪問介護（ホームヘルパーの訪問）体制が整っているから

4 住み慣れた場所で最期を迎えさせてあげたいから

5 最後まで自分らしく、好きなように過ごさせてあげたいから

6 家族等（自分を含む）との時間を多くしてあげたいから

7 家族等（自分を含む）に看取られて最期を迎えさせてあげたいから

8 他の家族等が自宅で最期を迎えていたから

9 症状が急に悪くなった時に、すぐに医師や看護師が訪問してくれるから

10 症状が急に悪くなった時に、すぐに入院できる体制が整っているから

11 経済的に負担が大きいと思うから

12 その他（

）

問 12-2 問 12 で、「2～6 自宅以外」を選択された方に伺います。

なぜ自宅以外を選択されたのか、お考えに近いものを選んでください。(複数回答可)

- 1 訪問してくれるかかりつけの医師がないから
- 2 訪問看護(看護師の訪問)体制が整っていないから
- 3 訪問介護(ホームヘルパーの訪問)体制が整っていないから
- 4 24時間相談にのってくれるところがないから
- 5 介護する家族等(自分を含む)がそばにいないから
- 6 介護する家族等(自分を含む)の負担が大きいため
- 7 症状が急に悪くなったときの対応に本人も家族等(自分を含む)も不安だから
- 8 症状が急に悪くなったときにすぐに医師や看護師の訪問が受けられるか不安だから
- 9 症状が急に悪くなった時に、すぐに入院できるか不安だから
- 10 居住環境が整っていないから
- 11 経済的に負担が大きいと思うから
- 12 その他( )

#### 病状B

～病状～

**認知症**が進行し、自分の居場所や家族の顔が分からず、食事や着替え、トイレなどの身の回りのことに手助けが必要な状態で、かなり衰弱が進んできました。

～医療上の判断～

「回復の見込みはなく、およそ1年以内に、徐々にあるいは急に死に至る」とのことです。

問 13 もしあなたのご家族が、**認知症**で、上記の「病状B」のような病状になった場合、どこで最期を迎えることを希望しますか。お考えに近いものを選んでください。(1つに○印)

- 1 自宅 ➡ 問 13-1 へ
  - 2 病院などの医療施設
  - 3 グループホーム(※1)
  - 4 サービス付き高齢者向け住宅
  - 5 老人ホーム(※2)
  - 6 その他( )
- ➡ 問 13-2 へ

※1 認知症の高齢者に特化した小規模の介護施設

※2 養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホーム

問 13-1 問 13 で、「1 自宅」を選択された方に伺います。

なぜ自宅を選択されたのか、お考えに近いものを選んでください。(複数回答可)

- 1 訪問してくれるかかりつけの医師がいるから
- 2 訪問看護(看護師の訪問)体制が整っているから
- 3 訪問介護(ホームヘルパーの訪問)体制が整っているから
- 4 住み慣れた場所で最期を迎えさせてあげたいから
- 5 最後まで自分らしく、好きなように過ごさせてあげたいから
- 6 家族等(自分を含む)との時間を多くしてあげたいから
- 7 家族等(自分を含む)に看取られて最期を迎えさせてあげたいから
- 8 他の家族等が自宅で最期を迎えていたから
- 9 症状が急に悪くなった時に、すぐに医師や看護師が訪問してくれるから
- 10 症状が急に悪くなった時に、すぐに入院できる体制が整っているから
- 11 経済的に負担が大きいと思うから
- 12 その他( )

問 13-2 問 13 で、「2～6 自宅以外」を選択された方に伺います。

なぜ自宅以外を選択されたのか、お考えに近いものを選んでください。(複数回答可)

- 1 訪問してくれるかかりつけの医師がないから
- 2 訪問看護(看護師の訪問)体制が整っていないから
- 3 訪問介護(ホームヘルパーの訪問)体制が整っていないから
- 4 24時間相談にのってくれるところがないから
- 5 介護する家族等(自分を含む)がそばにいないから
- 6 介護する家族等(自分を含む)の負担が大きいから
- 7 症状が急に悪くなったときの対応に本人も家族等(自分を含む)も不安だから
- 8 症状が急に悪くなったときにすぐに医師や看護師の訪問が受けられるか不安だから
- 9 症状が急に悪くなった時に、すぐに入院できるか不安だから
- 10 居住環境が整っていないから
- 11 経済的に負担が大きいと思うから
- 12 その他( )

### 3 人生の最終段階における医療・ケア等の話し合いについて伺います。

問14 あなたはご自分に万が一のことが起こった時や、人生の最終段階における医療・ケアについて、話し合ったことはありますか。(1つに○印)

- 1 話し合ったことがある ➡ 問15へ      2 話し合ったことはない ➡ 問16へ

問15 問14で「話し合ったことがある」と答えた方にお伺いします。  
どなたと話し合いましたか。(複数回答可)

- 1 家族・親族                      2 友人・知人                      3 医療関係者  
4 介護関係者                      5 その他 (                      )

問16 問14で「話し合ったことがない」とお答えした方にお伺いします。  
これまで話し合ったことがない理由は何ですか。(1つに○印)

- 1 話し合いたくないから                      2 話し合う必要性を感じていないから  
3 話し合うきっかけがなかったから      4 知識が無いため、何を話し合っているかわからないから  
5 その他 (                      )

問17 もし、ご家族等や医療介護関係者等の方と医療・ケアについて話し合う時期があるとする、いつ頃が良い年齢だと思いますか。

話し合ったことがある方は実際に話し合った年齢ではなく、望ましいと思う年齢を選んでください。(1つに○印)

- 1 20歳未満                      2 20～39歳                      3 40～59歳                      4 60～69歳  
5 70歳以上                      6 年齢は関係ない                      7 その他 (                      )

問18 もし、ご家族等や医療介護関係者の方と医療・ケアについて話し合うきっかけがあるとすると、どのようなきっかけで話し合うのが良いと思いますか。

話し合ったことがある方は、実際のきっかけではなく、望ましいと思うきっかけを選んでください。(複数回答可)

- 1 誕生日                      2 結婚                      3 妊娠・出産(配偶者の場合も含む)  
4 自分の病気                      5 退職                      6 還暦  
7 ご家族、友人等の病気や死  
8 人生の最終段階について、メディア(新聞、テレビ、インターネット、SNS等)から情報を得た時  
9 人生の最終段階について、医療や介護関係者による説明や相談の機会を得た時  
10 その他 (                      )

問19 あなたは人生の最終段階における医療・ケアについて、どのような情報源から情報を得たいと思いますか。(複数回答可)

- |                                   |       |                      |         |
|-----------------------------------|-------|----------------------|---------|
| 1 新聞                              | 2 テレビ | 3 ラジオ                | 4 雑誌、書籍 |
| 5 ニュースサイト等のインターネットメディア            |       |                      |         |
| 6 SNS (ツイッター、フェイスブック、インスタグラム等)    |       |                      |         |
| 7 動画配信・動画共有サイト (YouTube、TikTok 等) |       |                      |         |
| 8 研修会や講演会                         |       | 9 医療機関・介護施設のホームページ   |         |
| 10 自治体 (県・市) のホームページ              |       | 11 医療機関・介護施設のパンフレット等 |         |
| 12 自治体 (県・市) のパンフレット等             |       | 13 その他 ( )           |         |

問20 あなたは人生の最終段階における医療・ケアについて考えるために、どのような情報を得たいと思いますか。(複数回答可)

- |  |
|--|
| 1 人生の最終段階に受けられる医療の内容                   |
| 2 人生の最終段階に過ごせる施設・サービスの情報               |
| 3 人生の最終段階に受けた医療・ケアの場所や、看取りをした家族等に関する体験 |
| 4 人生の最終段階における医療・ケアの話し合い方、意思の伝え方や残し方    |
| 5 その他 ( )                              |

問21 人生会議 (ACP:アドバンス・ケア・プランニング) (※) について、知っていましたか。  
(1つに○印)

- |         |                |          |
|---------|----------------|----------|
| 1 知っていた | 2 名前は聞いたことがあった | 3 知らなかった |
|---------|----------------|----------|

※もしもの時のために、あなたが望む医療・ケアについて、前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取組を「人生会議 (ACP:アドバンス・ケア・プランニング)」と呼びます。あなたの心身の状態に応じて、かかりつけ医等からあなたや家族へ適切な情報の提供と説明がなされることが重要です。

問22 あなたは人生会議 (ACP:アドバンス・ケア・プランニング) のように、自らが望む人生の最終段階における医療・ケアについて、ご家族や医療関係者等とあらかじめ話し合いを進めることを、あなたはどのように思いますか。(1つに○印)

- |         |         |         |
|---------|---------|---------|
| 1 賛成である | 2 反対である | 3 わからない |
|---------|---------|---------|

ご回答ありがとうございました。